

公益財団法人 アジア女性交流・研究フォーラム アニュアルレポート

ANNIAL REPORT

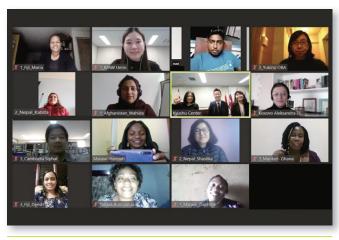


令和2(2020)年度 年報

(公財) アジア女性交流・研究フォーラムの主な事業



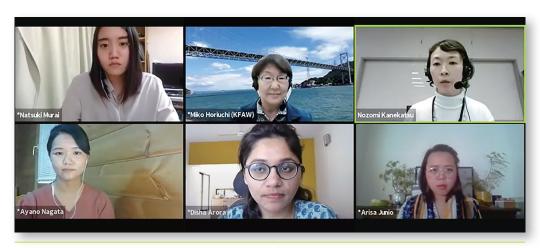
第31回アジア女性会議-北九州 (会場視聴の様子)



行政官のためのジェンダー主流化政策 2020



第32回 KFAW 研究報告会



第 65 回国連女性の地位委員会(CSW65) NGO フォーラム パラレルイベント 「Youth talk: climate action and gender」

北九州市立男女共同参画センター・ムーブの主な事業



働く女性のためのステップアップ講座



男女共同参画講座:山口真由氏講演会 「新しい女性の働き方〜自分らしく輝く女性に〜」

北九州市立東部勤労婦人センター (レディスもじ)の主な事業



男性料理教室「初めてのそば打ち体験」

北九州市立西部勤労婦人センター (レディスやはた)の主な事業



女性のための能楽体験教室

目 次

公益財団法人アンア女性父流・研究ノオーフムの概要	
設立趣意書	
目的	
事業内容	
組織	
職員数	4
役員等	4
運営	Ę
令和 2(2020)年度実施事業	
公益目的事業 I	
調査・研究事業 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	
交流・研修事業	
情報収集・発信事業	13
国際研修事業	14
公益目的事業Ⅱ	
指定管理事業	
男女共同参画センター管理運営業務 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	
勤労婦人センター管理運営業務 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	
【レディスもじ】	
【レディスやはた】	
【勤労婦人センター管理業務】 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	30
自主事業	30
男女共同参画センター自主事業 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	
勤労婦人センター自主事業 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	
指定管理施設利用状況	31
収益事業等	
その他事業 I :北九州市大手町ビル維持管理事業 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	36
その他事業Ⅱ:北九州市立男女共同参画センター等の公益目的以外の貸与事業	36
法人事業	38
財務諸表	
貸借対照表内訳表	
正味財産増減計算書内訳表	
財務諸表に対する注記	42
資料	
公益財団法人アジア女性交流・研究フォーラムの歩み ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	
刊行物一覧	
海外とのネットワーク	
施設案内	62

公益財団法人アジア女性交流・研究フォーラムの概要

設立趣意書

今日、国際社会においては、地球的規模で、世界の平和と人類の福祉向上の実現に向けての努力が重ねられています。

女性の地位向上の面においても、一国の全面的な発展及び世界の福祉・平和のためには、女性が男性と共に、社会のあらゆる分野に参画することが必要であることが認識され、1975年の「国際婦人年」を契機に、続く「国連婦人の十年」において「平等・開発・平和」を目標として世界的な規模での活動が活発に展開されてきました。しかし、実質的な女性の地位向上には、まだ多くの問題が残されており、国連婦人の十年以後もその精神を引き継ぎ、ナイロビ世界会議で採択された西暦 2000 年に向けての「婦人の地位向上のためのナイロビ将来戦略」に沿って、世界各地で目標達成のための努力が続けられています。

女性問題は、女性が単に女性であるということから生じるさまざまな不利益、不平等の問題であり、基本的人権、人間の尊厳にかかわる問題であります。その意味において、女性問題は女性だけの問題ではなく、男性を含む社会全体の、世界的に共通な問題であるといえます。このような観点から、現在、女性の視点が反映されることの少なかった従来の社会のありかたの再構築の必要性が認識され、男女共同参画による社会づくりが強く求められています。特に、開発途上国においては、国の開発の推進と開発における女性の参画が重要な問題となっています。

このような女性問題に対する認識と国際婦人年以来のさまざまな活動をふまえ、北九州市のふるさと創生事業を契機にアジア女性交流・研究フォーラムは事業を開始しました。以来、女性の地位向上とアジア地域の連帯・発展の核として機能することを目指して、日本及び他のアジア地域の女性問題に関する調査・研究及び情報の収集・提供、あるいは開発途上国の人材養成のための研修ならびに相互理解を促進するための国際交流などの活動を行ってきました。

国際社会が相互依存の関係を強め、日本の国際的役割がいっそう重要になるなかで、わたしたちは、アジア女性交流・研究フォーラムの事業の使命と意義を更に深く認識し、安定的な財政基盤の確保と、これまでの活動の一層の充実を図り、日本における女性問題の所在をより明確にするとともに、アジアの女性の地位向上に更に寄与することを念願し、ひいては、国際婦人年以降の目標である「平等・開発・平和」を達成するため、財団法人アジア女性交流・研究フォーラムを設立いたします。(1993年起草)

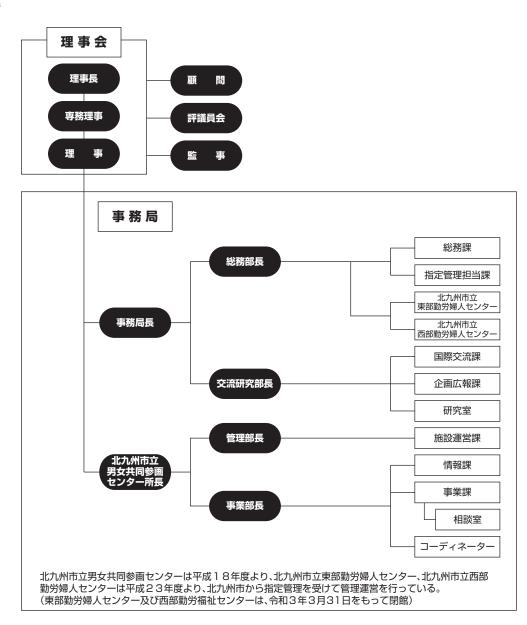
目的

日本及び他のアジア諸国のジェンダー(社会的性別)問題に関する調査研究及び国際交流等を行うとともに、男女共同参画社会の形成の推進に関する取り組みを支援することにより、女性の地位向上及び男女共同参画社会の形成の推進を図り、もって、日本及び他のアジア地域相互の発展に寄与することを目的とする。

事業内容

- (1) ジェンダーや男女共同参画に関する課題についての調査・研究
- (2) ジェンダーや男女共同参画に関する課題についての国際交流・研修
- (3) ジェンダーや男女共同参画に関する課題についての情報収集・発信
- (4) 北九州市立男女共同参画センター及び北九州市立勤労婦人センター (東部・西部) の管理・運営
- (5) その他、本財団の目的を達成するために必要な事業

組織



職員数

令和3年3月31日現在

区分	所長	事務局長	部長級	課長級	職員	計
市派遣職員			2	3		5
うちムーブ職員*1				2		2
うちレディス職員*2						
市OB						0
うちムーブ職員*1						
うちレディス職員**2						
嘱託職員				6	29	35
うちムーブ職員*1				2	16	18
うちレディス職員*2				2	6	8
その他(役員との兼務)	1 * 3	1 * 4				1

- ※1 北九州市立男女共同参画センター・ムーブの管理運営に従事する職員
- ※ 2 北九州市立勤労婦人センター (レディスもじ、レディスやはた) の運営に従事する職員
- ※3 所長は専務理事が兼務する。
- ※4 事務局長は専務理事が兼務する。

役員等 (五十音順)

令和3年3月31日現在

理事長

堀内 光子 公益財団法人アジア女性交流・研究フォーラム理事長

専務理事

江副 春之

理事

小川 健一郎 公益財団法人大阪 YMCA 代表理事

 北野
 久美
 北九州市保育士会会長

 田村
 慶子
 北九州市立大学教授

原田 美紀 弁護士

湯淺 墾道 情報セキュリティ大学院大学学長補佐・教授、北九州市男女共同参画審議会

副会長

監事

藤野 啓介 株式会社福岡銀行常務執行役員北九州本部長

桝尾 美栄子 北九州市会計室長

顧問

北橋 健治 北九州市長

評議員

梅本和秀北九州市副市長大島まな九州女子大学教授

緒方 撰子 北九州市婦人会連絡協議会顧問

窪田 由紀 九州産業大学教授

戴 二彪 公益財団法人アジア成長研究所副所長

築別 悦子 北九州市女性団体連絡会議理事

冨安 兆子 高齢社会をよくする北九州女性の会代表

羽田野 隆士 北九州商工会議所専務理事

松尾 太加志 北九州市立大学学長

村上 順滋 北九州市私立幼稚園連盟会長

運営

1 理事会

(1) 第1回理事会(みなし決議)

議 案 令和2年度臨時評議員会(みなし決議)の開催について

議事結果 議案可決

(2) 第2回理事会

開催日 令和2年6月4日(木)15:15~17:00

場 所 北九州市立男女共同参画センター・ムーブ 5階小セミナールーム

出席者数 9名

議 案 ・令和元年度事業報告及び決算について

・就業規則の一部改正について

・令和2年度定時評議員会の開催について

議事結果 全議案可決

(3) 第3回理事会

開催日 令和3年3月12日(金)14:00~15:45

場 所 北九州市立男女共同参画センター・ムーブ 5階小セミナールーム

出席者数 8名

議 案 ・就業規則の一部改正について

・処務規定の一部改正について

・特定個人情報等取扱規程の一部改正について

・令和3年度事業計画及び収支予算について

議事結果 全議案可決

2 評議員会

(1) 臨時評議員会(みなし決議)

決議があったとみなされた日 令和2年5月8日(金)

議 案 監事の選任について

議事結果 議案可決

(2) 定時評議員会(みなし決議)

議 案 令和元年度決算について

議事結果 議案可決

令和 2(2020)年度実施事業 公益目的事業 I



日本及びアジア地域のジェンダー問題に関する調査研究、 国際協力・交流等を通じて女性の地位向上を図る事業

【概況】

アジア女性交流・研究フォーラム(KFAW)は、平成2年10月に設立、平成5年10月に労働省(現厚生労働省)の認可を受けて財団法人となり、平成25年4月1日に内閣府の認定を受けて公益財団法人に移行した。設立以降、女性の地位向上及び男女共同参画社会の形成の推進を図るため、さまざまな活動を展開してきた。

令和2年度は、新型コロナウイルス感染症拡大のため、事業を大幅に縮小せざるを得ない状況となったが、年度後半からは、人々の接触を避けるために、積極的にオンラインを活用して重要事業の継続的実施を図った。

調査・研究事業として、1 組の客員研究員研究を選考するとともに、アジアジェンダー研究者ネットワークセミナーをオンラインで実施した。また、交流・研修事業として、「アジア女性会議ー北九州」と開発途上国の行政官のための国際研修「行政官のためのジェンダー主流化政策」をオンラインで実施した。新型コロナウイルス感染拡大の影響により、前年度の第 64 回国連女性の地位委員会(CSW64)は参加自粛要請とともにサイドイベント、パラレルイベントが中止されたため「帰国報告会」も中止としたが、第 65 回委員会(CSW65)ではすべてオンライン開催であったため、当財団も NGO フォーラムにてパラレルイベントを実施した。

高校生のための男女共同参画に関する啓発事業については、新型コロナウイルス感染拡大のため 中止とした。

1 調査・研究事業

KFAW 客員研究員による調査研究を行うとともに、研究報告会の開催や研究誌の刊行によって研究成果を公開し、研究者、市民等と共有した。また、KFAW アジアジェンダー研究者ネットワーク活動を活発化させるとともに、キャリア形成のためのプログラム開発などを行った。

(1) 客員研究員研究

KFAW の調査・研究事業については、客員研究員への委託により時宜に適したテーマによる調査研究を実施した。令和2年度は、1組の客員研究員研究を選考した(調査期間:令和2年度~令和3年度)が、新型コロナウイルス感染拡大の影響により、具体的調査がスムーズに進まない状況がみられた。

ア R2/R3年度 KFAW 客員研究員と研究テーマ

(ア) 離婚過程にある女性の支援ニーズと相談機関の現状 – シングルマザーへのインタビュー調査を基に –

昭和女子大学女性文化研究所 特別研究員 宮坂順子

イ 研究誌の刊行

KFAW 客員研究員等の論文を収録した研究誌『アジア女性研究』及び『KFAW 調査研究報告書』を刊行した。

- ・『アジア女性研究』第30号 500部
- ·『KFAW 調査研究報告書』 各 100 部

2020-1 国際家族年前後の家族をめぐる論点の整理 - 国際比較のための基礎的研究 -

2020-2 地方自治体におけるパートナーシップ制度の現状と課題



『アジア女性研究』第30号



KFAW 調査研究報告書 2020-1

ウ研究報告会の開催

研究報告会を開催して、研究成果を市民、研究者に発信した。

- (ア) 第 31 回 KFAW 研究報告会
 - ① 日時 令和2年12月6日(日)13:00~16:00
 - ② 場所 オンライン配信 (Zoom) (視聴会場 北九州市立男女共同参画センター・ムーブ)
 - ③ 報告内容、報告者
 - (a) 「DV 被害を受けた母親と子どもへの支援に関する実証的研究 日本とシンガポールの 実践を通して」

小川真理子 (東北大学男女共同参画推進センター准教授)

小口恵巳子 (茨城女子短期大学准教授)

柴田美代子(東京ウイメンズプラザ主任専門員)

- (b) 「地方議会の女性議員増加をめざして-日・台統一地方選挙時の比較調査から-」 福岡女性学研究会
- (c) 「女性視点のキャリア形成促進に向けた研究 福岡県と鹿児島県におけるインタビュー調査を基礎として 」

高丸理香 (静岡大学国際連携推進機構特任教授)

出雲俊江 (筑紫女学園大学文学部教授)

橋本嘉代 (筑紫女学園大学現代社会学部准教授)



- (イ) 第 32 回 KFAW 研究報告会
 - ① 日時 令和3年3月16日(火)14:00~15:00
 - ② 場所 オンライン配信(Zoom) (視聴会場 北九州市立男女共同参画センター・ムーブ)
 - ③ 報告内容、報告者
 - (a) 「国際家族年前後の家族をめぐる論点の整理 国際比較のための基礎的研究 」 蜂須賀真由美(株式会社エムアンドワイコンサルタント) 佐野麻由子(福岡県立大学人間社会学部准教授)

(2) KFAW アジアジェンダー研究者ネットワーク活動

ア アジアジェンダー研究者によるセミナーの開催

ジェンダーに関するさまざまな分野の研究者や実務者が、アジア地域を対象とする研究の成果を市民を含む多くの人々と共有するため、セミナーを開催するとともに KFAW アジアジェンダー研究者ネットワーク活動の充実を図った。

- (ア) 令和 2 年度第 1 回 KFAW アジアジェンダー研究者ネットワークセミナー
 - ① テーマ 「女子差別撤廃条約と SDGs ジェンダー格差先進国最下位から脱却するには 」
 - ② 日時 令和2年11月14日(土)14:00~16:00
 - ③ 場所 オンライン配信(Zoom) (視聴会場 北九州市立男女共同参画センター・ムーブ)
 - ④ 講師 秋月弘子(国連女子差別撤廃委員会委員 亜細亜大学教授)山下泰子(国際女性の地位協会共同代表 文京学院大学名誉教授)
 - ⑤ 参加者 164名
 - ⑥ 内容 国連女子差別撤廃委員会では、SDGsの目標 5 (ジェンダー平等)を実現するため適切な政策と戦略に女子差別撤廃条約を活用するよう各国に求めている。その取り組みを女子差別撤廃委員に 2019 年に就任した秋月弘子氏がわかりやすく解説。後半はジェンダー格差が先進国で最大で、平等度が最下位の日本の今後の方策についての対談。
- イ アジアジェンダー研究者による共同研究

九州地域内のジェンダー研究者のネットワーク活動によって、「変容するアジアの家族」を テーマに共同研究、研究図書出版に向け共同執筆を行うことを目的に、アジアジェンダー研究者 ネットワーク会議を開催した。

ウ キャリア形成のためのプログラム開発

大学生の卒業後の働き方や自己実現のために、男女共同参画や女性活躍の視点も踏まえ開発した「大学生のためのキャリア形成プログラム」を改訂し、市内3大学で8回オンライン方式やオンデマンド方式で講義を行った。

2 交流・研修事業

「第 31 回アジア女性会議 – 北九州」と CSW65 NGO フォーラム(バーチャル)パラレルイベント「Youth talk: climate action and gender」(若者による討論:気候変動アクションとジェンダー)を開催した。

(1) 「アジア女性会議ー北九州」等の国際セミナーの開催

ア アジア女性会議-北九州

「気候変動とジェンダー」をテーマに、アジア女性会議 - 北九州を開催した。新型コロナウイルス感染症拡大のため、今回初めてオンラインで開催した。基調講演ではクンザン・ラーム氏に、ブータン王国における女性に焦点を当てた気候変動への取り組みについてご講演いただき、その後北九州市によるアジアでの低炭素化推進事業の紹介、2つの市民団体による活動発表を行った。

- (ア) 国際シンポジウム「第31回アジア女性会議-北九州」の開催
 - ① 日時 令和2年10月8日(木)13:30~15:30
 - ② 場所 オンライン配信 (Zoom)(視聴会場 北九州市立男女共同参画センター・ムーブ)
 - ③ 参加者 191名 (オンライン177名、会場14名)
 - ④ 基調講演 クンザン・ラーム(ブータン王国 女性と子どものための国家委員会事務局長 (当時)) - 堀内光子(KFAW 理事長)との対談形式にて実施 村上恵美子(アジア低炭素化センター 事業化支援担当課長)
 - ⑤ 市民団体による活動事例発表

大庭きみ子(朝倉災害母子支援センターきずな 事務局長) 鬼沢良子(NPO 法人持続可能な社会をつくる元気ネット 理事長)

- ⑥ 総括 江副春之 (KFAW 専務理事)
- ⑦ 事後配信 YouTube 配信 令和 2 年 12 月初旬より 1 ヶ月程度
- ⑧ 報告書の作成 『第31回アジア女性会議-北九州 報告書』

イ 国際理解促進事業

前年度は新型コロナウイルス感染症拡大を受けて大幅に縮小して開催された第 64 回国連女性の地位委員会(CSW64)及びパラレルイベントの中止により、例年行っていた帰国報告会は開催できなかった。一方、令和 3 年 3 月に開催された第 65 回委員会(CSW65)では、本会議、サイドイベント、パラレルイベントともにすべてオンラインで実施されたため、当財団は、NGO フォーラムが開催するパラレルイベントにて、2013 年 CSW57 回会合以来 8 年ぶりに自らの主催のイベントを開催した。内容は気候変動アクションとジェンダーについて、4 人の若者による討論会を実施した。



- (ア) 第 65 回国連女性の地位委員会 (CSW65) NGO フォーラム パラレルイベント (使用言語は英語)
 - ① テーマ Youth talk: climate action and gender (若者による討論: 気候変動アクションとジェンダー)
 - ② 日時 令和3年3月21日(日)14:30~16:00
 - ③ 場所 オンライン配信 (Zoom 及び YouTube ライブ配信)
 - ④ 発表者 Disha Arora (KFAW 第 30 期海外通信員、ドキュメンタリー映画製作者ならびに開発コミュニケーション専門家)

Arisa Junio(KFAW 第 27 期海外通信員、VOICE グローバル助成担当官)

村井夏輝(慶応義塾大学学生、JYPS 会員)

永田理乃 (マンチェスター大学大学院学生)

モデレーター 堀内光子 (KFAW 理事長)

- ⑤ 参加者 58名
- ⑥ 事後配信 YouTube 配信 令和3年3月末から1ヶ月程度
- ウ 高校生向け男女共同参画意識の啓発

高校生が将来に向けて自己実現や男女共同参画を考えるためのセミナーを予定していたが、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、中止となった。

(2) 海外拠点ネットワークの形成

SDGs 達成への取り組みを通じて、目標 5(ジェンダー平等及び女性・少女のエンパワーメント)に関する取り組みを主とした海外拠点ネットワーク形成を目指し情報共有を図るため、連携して事業実施するムーブとフォーラムの活動内容を効率的、効果的に広報していくためのウェブ拠点の構築を目的として、両者のサイト統合に向けてホームページ改修を開始した。ただし、両機関の性格は異なり、フォーラムは非政府組織(NGO)、ムーブは公的機関であることを、特に国際的発信においては十分留意する。また、これまで利用してきた Facebook に加え、主に若い世代に向けた新たな情報発信ツールとして Twitter と Instagram のアカウントを開設した。

(3) 海外派遣

令和3年3月にニューヨークで開催された第65回国連女性の地位委員会(CSW65)への参加登録の機会を当財団の関係者等に提供した(資格取得人数12名)。なお、本会合はすべてオンラインで行われた。

3 情報収集・発信事業

情報誌『Asian Breeze』の発行、ホームページ、Facebook や海外通信員などを活用しながら、アジア地域の女性に関する情報収集・発信やフォーラムの活動についての情報発信を行った。

(1) 情報誌『Asian Breeze』等の発行

主にアジア・太平洋諸国の女性に関する情報やフォーラムの活動を広く国内外に発信し、ジェンダー問題に対する理解の浸透を図っていくため、情報誌『Asian Breeze』(日本語・英語版)を発行した。

また、KFAW の年間事業報告書『令和元(2019)年度 年報』を発行した。

- ア 情報誌『Asian Breeze』の発行
 - (ア) 発行部数·発行回数·時期

第88号 令和2年8月(日本語版1,500部、英語版500部)

第89号 令和3年2月(日本語版1.500部、英語版500部)

(イ) 送付先 市内公共施設のほか、国内・海外女性関連団体及び研究機関、在外公館、

国連機関、国際関係団体など

イ 年間事業報告書の発行

KFAW の年間事業報告書『令和元 (2019) 年度 年報』を発行した。

(ア) 発行部数 300部

(イ) 発行時期 令和2年8月

ウ ホームページ、Facebook アクセス件数 895.781 件

(内訳) ホームページ(日/英) 219,036件Facebook(日/英) 676,745件

(2) 海外通信員事業

アジア・太平洋諸国を中心とした海外における女性の状況について情報収集を行うため、アジア・太平洋諸国在住者を中心に海外通信員を公募し、現地の最新情報をリポートした。通信員から提出されたリポートは、『Asian Breeze』やホームページに掲載した。

(ア) 人数 1カ国1名 (インド)

(イ) 任期 令和2年7月~令和3年3月

(ウ) リポート回数等 レポート:2回

CSW65 NGO フォーラム パラレルイベントでの活動発表

(ウェブ会議への参加代替):1回



4 国際研修事業

(1) JICA 研修 行政官のためのジェンダー主流化政策 2020

開発途上国における女性・少女のエンパワーメントや男女共同参画社会の実現に向けたジェンダー主流化の政策立案、推進が可能な行政官を育成する国際研修を、独立行政法人国際協力機構九州センター(JICA 九州)から受託し実施しているが、新型コロナウイルス感染拡大の影響により研修員が来日できず、例年 2 回実施している研修をオンラインによる遠隔研修「行政官のためのジェンダー主流化政策 2020 (A)(B)」として 1 回実施した。

ア 研修概要

<行政官のためのジェンダー主流化政策 2020 (A)(B)>

- (ア) 期間 令和3年1月12日(火)~2月2日(火)
- (イ) 場所 オンライン
- (ウ) 研修員 7カ国12名(アフガニスタン、コソボ、フィジー、マラウィ、ガーナ、ネパール、カンボジア)

イ 市民交流会の開催

オンラインによる遠隔研修となり、研修員の来日がかなわなかったため開催できなかった。

公益目的事業Ⅱ



男女共同参画に関する事業を通じて男女共同参画社会の形成を推進する事業

【概況】

アジア女性交流・研究フォーラムは、平成 23 年度から北九州市立男女共同参画センター・ムーブに加え、北九州市立東部勤労婦人センター(レディスもじ)及び北九州市立西部勤労婦人センター(レディスやはた)の管理運営等を指定管理者として行っている。令和 2 年度の事業実施に当たっては、これまで北九州市立男女共同参画センターの管理運営で培った経験や東部及び西部勤労婦人センターの実績や地域との関係を踏まえ、男女共同参画社会の推進を担う拠点施設 3 館を有機的に連携させながら各種事業を実施した。なお、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、ムーブ、レディスもじ、レディスやはたは、令和 2 年 3 月 4 日から 5 月 25 日、5 月 31 日から 6 月 18 日まで臨時休館とするとともに、ムーブフェスタ 2020 をはじめ一部の事業について中止とした。

なおレディスもじ、及びレディスやはたについては、令和3年3月31日をもって閉館となり、 以後、施設は生涯学習センター分館として運営されることとなったため、令和3年2月をもって 事業にかかる業務を終了し、令和3年3月を施設引き継ぎのための作業期間として、引き継ぎに かかる業務を執り行った。

1 指定管理事業

(1) 男女共同参画センター管理運営業務

男女共同参画社会の形成に向けて各種男女共同参画事業等を実施するとともに、相談事業、情報事業、施設管理業務を行った。但し、「ムーブフェスタ 2020」は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止とした。

また、KFAW で開発したキャリア形成プログラムを、KFAW の成果を活かして、平成 28 年度からムーブで実施している。

ア 男女共同参画等事業 (19事業、参加延人数 4.269 名)

(ア) ジェンダー問題講座 (4 事業、参加延人数 1,935 名) 男女共同参画に関する講座、講演会、シンポジウムを開催し、ジェンダーをめぐる諸問題に ついて啓発を行い、取り組みを促進した。

- ① 男女共同参画講座
 - (a) 「新しい女性の働き方~自分らしく輝く女性に~」 講師:山口真由(信州大学特任准教授、ニューヨーク州弁護士)
 - (b) ムーブ・レディス映画祭〜自分の人生を生きる〜 映画『一粒の麦 荻野吟子の生涯』 上映会&小倉昭和館館主 樋口智巳さんによるお話
- ② おとこのライフセミナー

「つながり ひろがる - 力を合わせて輝くまちづくり - 」

講師:堀尾正明(フリーキャスター、明海大学客員教授、早稲田大学講師)

- ③ キャリア形成プログラム
 - (a) 九州国際大学

実施回数:5回【オンラインによる講義】

講師:大島まな(九州女子大学人間科学部長)

山脇直祐(NPO 響都創研代表)

(b) 九州女子大学

実施回数:1回【オンデマンドによる講義】

講師:湯淺墾道(情報セキュリティ大学院大学学長補佐、情報セキュリティ研究科教

授)

(c) 九州共立大学

実施回数:2回【オンデマンドによる講義】

講師:松本幸一(九州国際大学法学部教授)

仙波亮一(九州国際大学現代ビジネス学部准教授)

(d) 西南女学院大学

実施回数: -回

(※新型コロナウイルス感染症対策による休講に伴い日程の確保が難しいため中止)

ほか

(イ) 就業支援講座(9事業、参加延人数2.059名)

女性のキャリアアップや経済的自立に向けたチャレンジ、また働き続けることを支援するため、キャリア意識の醸成や就業に係わるスキルの向上を図る講座、就業の機会を拡げるための 再就職、起業等に関する講座を開催した。

- ① 働く女性のためのステップアップ講座、フォローアップセミナー、ムーブカフェ
- ② 働く女性に贈る!お役立ちワンポイントセミナー
- ③ 夫婦会議の体験講座
- ④ 資格取得講座(介護事務講座、医療事務講座など)
- ⑤ パソコン講座 ほか
- (ウ) 生活技術講座 (6事業、参加延人数 275 名)

男女の性別役割分担意識にとらわれずに、生活面でのあらゆる分野で学習、研究することにより、その技術の習得を図った。

- ① 男性向け講座 (エプロン男子、介護男子)、おとこの魅力アップシリーズ (コーヒー男子、おもてなし男子、時短料理男子)
 - ※6月に予定していた時短料理男子及び1月に予定していたおそうじ男子は、新型コロナウイルス感染症対策により中止。
- ② いまどきママのリフレッシュ講座 ほか



イ 市民活動支援・連携事業 (3事業、参加延人数 676名)

さまざまな活動を行っている団体やグループの情報交換、交流を促進し、ネットワーク化を図ることによって、男女共同参画センターを利用する個人、団体、グループが相互に新たな発見をし、男女共同参画社会の形成を目指すための自主的・創造的な活動ができるよう支援、連携して事業を展開した。

- (ア) ムーブ学生活動プロジェクト(北九州市立大学地域創生学群 ESD プロモート実習)
- (イ) 人権を考える企業のつどい
- (ウ) 子育て支援の"いま"を知る! 2020

※新型コロナウイルス感染症対策のため、「ムーブ学生活動プロジェクト」、「ファミリークリスマス in 北九州」は中止

ウ リプロダクティブ・ヘルス/ライツ事業 (3事業、参加延人数 4,076 名)

女性の多様な活動を支えるために、心と身体の健康を家庭や職場など日常生活の中で維持増進できるように、技術と知識の習得の機会を提供する「リプロダクティブ・ヘルス/ライツ」に関する講座等を開催した。

(ア) ムーブ・レディス連携事業

「いま、なぜ『リプロダクティブ・ヘルス/ライツ(性と生殖に関する健康と権利)』? ~一人ひとりの生涯にわたる健康のために~」

- (イ) 健康講座「冷えにさよなら!リラックスヨガ」
- (ウ) フィットネスルームの個人利用 ほか
- エ ムーブフェスタ 2020

※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止

全体のテーマを「チャンス」、キャッチコピーを「*チャンスの芽″かがやくムーブの夏」とし、 市民の自主的な研究・実践活動を積極的に支援する市民企画事業を中心に、講演会やイベント等 の事業を行う予定だった。

- (ア) 予定していた主催事業(5事業)
- ① オープニングイベント 講演会

「自分らしさとは何か~自然体で生きるということ~|

講師:近藤サト(日本大学芸術学部放送学科特任教授・アナウンサー・ナレーター)

② イベントステージ

「アジアの風を感じて~馬頭琴・二胡・筝コンサート」

- ③ 行列のできる!?法律相談Q&A
- ④ 第23回ジェンダー問題調査・研究報告会
- ⑤ マガジンリサイクル

(イ) 予定していた市民企画事業

総事業数 103事業

(イベント 63 事業、サマーカーニバル 12 事業、フリーマーケット 28 事業)

オ 相談事業

心の問題や生き方、性別による人権侵害、就労や法律に関する相談等について、相談室相談員をはじめ臨床心理士、キャリアコンサルタント、弁護士がジェンダーの視点に立って相談に応じた。また、離婚に関する男女の法律基礎講座、内閣府の「女性に対する暴力をなくす運動」に連動した特別講座、福岡県弁護士会北九州部会との共催によるホットライン事業等を実施した。

(ア) 相談

こころと生き方の一般相談、性別による人権侵害相談、女性のための元気アップ相談(就労)、男性のための電話相談、弁護士による無料法律相談

区 分	電話相談件数	面接相談件数	合 計	
一般相談	2,025 件	7件	2,032 件	
人権侵害相談	84 件	_	84 件	
女性のための 元気アップ相談	90 件	53 件	143 件	2,415 件
男性電話相談	72 件		72 件	
法律相談	_	84 件	84 件	

(イ) 講座(4講座、参加延人数119名)

- ① 女性のための法律基礎講座
- ② 男性のための法律基礎講座
- ③ 女性への暴力ゼロ運動特別講座
- ④ 単発講座;アンガーマネジメント

(ウ) ホットライン (相談件数 30 件)

福岡県弁護士会北九州部会との共催で弁護士、配偶者暴力相談支援センター相談員、ムーブ 相談員が女性の人権等に関する相談に電話で応じた。

- ① 女性への人権侵害相談ホットライン【内閣府「男女共同参画週間」事業】
- ② 女性への暴力ゼロ!ホットライン
- (エ) 自助グループへの支援(支援グループ数 2) 会場及びロッカーの提供、ならびに今後のグループの支援について協議を行った。

(オ) その他啓発

- ① パネル展示「ワリかん!?ワリとかんたん!?男と女のいい関係|
- ② パネル展示「大切にしよう、自分のこと」
- ③ 「女性に対する暴力をなくす」運動街頭啓発キャンペーン(小倉駅改札前広場)



カ 情報事業

(ア) 情報収集提供事業

男女共同参画社会の実現に向けて、ジェンダー問題に関する図書や資料等の収集・提供を行うとともに、絵本等の読み聞かせ会を開催した。また、市内等で活動している団体やムーブの施設・講座等の情報をホームページ、Facebook やムーブメール等により提供した。

① 図書・資料等の収集

ジェンダー問題関連の図書を中心に、行政資料、雑誌、児童書、DVD等の収集・提供の充実を図った。

- (a) 蔵書数(令和3年3月31日現在) 図書56,548冊、雑誌5,230冊、DVD110本
- ② 図書・資料等の提供(貸出等)

図書の貸出・返却及び利用者ならびに資料の登録・検索、図書統計資料の作成等に関する 管理を北九州市立図書館とオンライン化した電算システムで行った。また、北九州市立図書 館共通図書カードにより貸出を行うとともに、北九州市の各図書館との相互貸借も行った。

(a) 図書情報室利用状況(令和2年5月~令和3年3月31日)

(新型コロナウイルス感染防止の対応のため、 $2/28 \sim 5/25$ 臨時休室、 $5/26 \sim 5/30$ は臨時窓口での対応、 $5/31 \sim 6/18$ 臨時休室、 $6/19 \sim 6/23$ 臨時窓口での対応、 $6/24 \sim$ 図書室内立ち入り開始、 $7/1 \sim$ 図書の閲覧開始)

貸出冊数 25.965 冊、貸出者数 9.354 人

- (b) 親子を対象に絵本の読み聞かせをする「おはなし会」の開催 ほか
- ③ 男女共同参画関連情報の収集・提供
 - (a) 団体情報 (ムーブネット) の収集提供

男女共同参画社会の実現のために市内及び近郊で活動している団体(グループ)の情報を情報システム「ムーブネット」により管理・提供した。

- ·登録件数 70 件 (令和 3 年 3 月 31 日)
- ④ その他の情報提供
 - (a) ホームページ・Facebook

ムーブの講座、イベント、図書、貸室などの最新情報を随時更新し、ホームページ等で 提供した。

- ・ホームページ、Facebook アクセス件数 (令和 2 年 4 月~令和 3 年 3 月 31 日) ホームページ 184,913 件 Facebook 13,864 件
- (b) ムーブメール (メールマガジン)

ムーブの講座・イベントなどの最新情報を掲載したメールマガジン「ムーブメール」を 月1回配信した。

・ムーブメール登録者数 375人 (令和3年3月31日現在)

(イ) 調査研究事業

- ① ジェンダー問題 調査・研究支援事業
 - (a) 令和2年度ジェンダー問題 調査・研究支援事業

ジェンダー問題を自主的に調査・研究し、その問題解決を図るための糸口を見出そうと取り組んでいる市民グループ・研究者等を支援するために、その調査費の一部(上限 30 万円)を助成。研究結果については、令和 3 年 3 月に報告書を発行した。

- ・テーマ:「女性研究者の研究と育児の両立における葛藤と課題:福岡県内の大学を対象として|
- ·研究者:平川知佳(西南学院大学 博士研究員·非常勤講師)
- (b) 第23回ジェンダー問題調査・研究報告会(参加人数63名)
 - · 日 時: 令和2年10月31日(土) 13:00~14:30
 - ・テーマ:「北九州地域における"ひきこもり・生きづらさに悩む女性"に関する調査・ 研究 |
 - ・報告者:市民グループ 北九女子一歩会
 - ・コメンテーター:池上正樹

(ジャーナリスト・KHJ 全国ひきこもり家族会連合会 理事)

- ② ジェンダーに関する啓発冊子の発行事業
 - (a) 『北九州市の男女共同参画統計データ集 2020』 発行

平成 26 年に発行した『北九州市の男女共同参画統計データ集 2014』に最新のデータを追加するとともに、令和 2 年 10 月に実施した「北九州市における女性の活躍推進実態調査」の結果を加えた刷新版を発行した。

- · 発行部数 500 部
- · 体裁等 A4 判 (無料)
- (b) 『北九州市の男女共同参画統計データ集 2020』のデータをホームページに掲載した。

(ウ) 広報事業

- ① 情報誌『ムービング』の発行
 - (a) 発行日 91号 令和2年6月10日 92号 令和2年10月10日 93号 令和3年2月28日
 - (b) 発行部数 各号 6.500 部



キ 施設管理業務

市民が安心して安全に利用でき、さらに利用しやすい施設とするため、環境面や新型コロナウイルス感染症対策にも考慮しつつ計画的かつ効率的な設備の充実・改修を行った。

また、視察の受入れなど、他都市等との連絡調整を行った。

(ア) 施設維持管理業務

安全・安心の観点から、施設・設備の定期的な保守点検や計画的な補修等を行うとともに、 防災研修(消防訓練、AED 操作研修等)などの職員研修を実施した。

また利用者から要望のあった、トイレ便器の洋式化等の改修を実施した。

新型コロナウイルス感染症対策としては、受付への飛沫防止シートの設置や1階におけるサーモカメラによる来場者への検温、及び各フロアへの消毒薬の設置などを実施した。

(イ) 貸室業務

主催事業で利用しない施設について、市民グループ・企業等に貸出しを行った(原則有料)。

・令和2年度貸室利用人数51,716人

≪参考:総利用者数 81,544人(うち主催事業参加延人数 29,828人) ≫

(ウ) その他

① 視察受入れ

他都市等からの視察を受入れ、事業説明・意見交換や施設見学を行った。

・視察件数 4件、延人数 22人

② 講師派遣

各団体からの依頼に応じ、ハラスメント防止や男女共同参画等について講師を派遣し、講演・研修を実施した。

・派遣件数 11 件、延人数 1,172 人 (うち 3 件 114 人 ハラスメント出前講座)

(2) 勤労婦人センター管理運営業務

男女共同参画社会の形成に向けて、各種男女共同参画事業等を実施するとともに、開館記念行事の開催や、施設の管理業務を行った。

【レディスもじ】

ア 男女共同参画等事業 (5 事業、参加延人数 169 名)

男女共同参画に関する講座、講演会、映画祭を開催し、健康等、様々な視点からジェンダーについて、わかりやすく啓発を行った。

- (ア) ジェンダー問題講座 (3事業、参加延人数 124名)
 - ① ムーブ・レディス映画祭『日日是好日』
 - ② 健康講座「元気に健康寿命を延ばす!」
 - ③ 心理学講座
- (イ) エンパワーメント講座 (2講座、参加人数 45 名)
 - ① アンガーマネジメント講座 [ストレスケア~こころの手当て~]
 - ② ストレスマネジメント講座
- イ 就業支援講座 (15事業、参加延人数 2.041 名)

女性の経済的自立へのキャリアアップ講座、就業・再就職講座等を実施した。

- (ア) キャリアアップ講座 (1事業、参加延人数 159 名) 働く女性の就業能力向上を目的とする講座や資格取得に関する入門講座等を実施した。
 - ① 行政書士入門講座
- (イ) パソコン講座 (10事業、参加延人数 1,181 名) 様々なレベルのパソコン講座を企画し、就職活動やスキルアップを支援した。
 - ① 初心者のためのパソコン講座
 - ② パワーポイント基礎&応用講座
 - ③ ワード・エクセル基礎講座 ほか
- (ウ) 資格取得講座(4事業、参加延人数701名)

女性のライフプランやキャリアプランも多様化していることから、様々な資格取得講座を実施した。講座終了後には追跡調査を実施し、就職状況等で効果の検証を行った。

- ① ファイナンシャル・プランナー技能検定3級講座
- ② ファイナンシャル・プランナー技能検定 2級講座
- ③ 行政書士試験対策講座
- ④ 調理師受験準備講座



- ウ 生活技術講座(13事業、参加延人数306名)
 - (ア) 子育て支援事業(2事業、参加延人数31名)

男女が固定的な性別役割分担意識にとらわれずに、生活面のあらゆる分野に関する技術を親子で習得することを目的として講座等を実施した。

- ① 夏休み 親子木工教室
- ② 親子で楽しく年賀状講座
- (イ) 生活技術講座(11事業、参加延人275名)

家族の健康、家庭生活(料理)、英会話などをテーマとして、時代に即した話題で生活の充 実を目的とした講座を開催した。

- ① 英会話講座
- ② 味噌づくり講座
- ③ 絵手紙講座
- ④ ハーブ講座
- ⑤ パン教室講座
- ⑥ 料理講座 ほか
- エ リプロダクティブ・ヘルス/ライツ事業(5事業、参加延人数249名)

女性の多様な活動を支えるために、心と身体の健康を家族や職場など日常生活の中で、自分の力を維持増進できるように、技術と知識の習得の機会を提供する「リプロダクティブ・ヘルス/ライツ」に関する講座等を開催した。

- ① ムーブ・レディス三館合同連携事業「いま、なぜ『リプロダクティブ・ヘルス/ライツ (性と生殖に関する健康と権利)』?~一人ひとりの生涯にわたる健康のために~」
- ② 東洋医学
- ③ 薬膳講座 ほか
- オ 市民活動支援・連携事業(10事業、参加延人数430名)
 - (ア) 市民企画事業 (7事業、参加延人数 195 名)

男女共同参画の啓発と市民団体の育成を図ることを目的として、レディスもじを活用し、 男女共同参画に関連する事業を実施する団体との共催により事業を行った。

- ① 「新春落語寄席」
- ② 「二胡 コンサート」 ほか
- (イ) 国際交流事業(1事業、参加人数14名)

市民が気軽に参加できる異文化交流会を開催した。海外の生活や食事、風景などをスライドショーや楽器などを通して相互理解を深める機会を持つことを目的とし、実施した。

① ケニアの文化を体験しよう

(ウ) 託児ボランティア・図書ボランティア (2事業、参加延人数 221 名)

再就職や社会参画を希望する育児中の能力開発等が行える環境整備として、託児業務を託児 サークルの協力を得て実施した。また、情報資料室では、図書ボランティアの協力を得て、多 くの情報を提供した。

- ① 託児ボランティア「ママサポートりぼん」
- ② 図書ボランティア「リブロ」

(エ) 友の会育成事業(中止)

市民の自主的・主体的な活動を支援するとともに、男女共同参画の理解と利用者相互の親睦を深め、生き生きとした活動が実施できるような友の会の指導育成を図ることを目的として、毎年開館記念フェスティバルを開催していたが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止とした。

カ 開館記念講演会(中止)

レディスもじの開館記念事業として、男女共同参画の理念と実践をわかりやすく語ってもらう 講演会を実施する予定であったが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止とした。

(ア) 開館33周年記念講演会「幸せをつかむ、時間の使い方」

講師:吉村真理

- キ 相談事業 (1事業、相談延人数8名)
 - (ア) 女性のための無料法律相談

ク 情報提供事業 (1事業)

女性に関する情報、就職に関する情報及び勤労婦人センターや男女共同参画センターの事業に関する情報など、市民にとって有益で活用を図ることのできる情報提供をホームページ等で行った。また、レディスもじでは、情報資料室を設置しており、図書ボランティアの協力も得て図書の貸出し事業を行っている。

·貸出冊数 856 冊

【レディスやはた】

ア 男女共同参画等事業(14事業、参加延人数566名)

男女共同参画に関する講座、講演会、ワークショップを開催し、健康、ワーク・ライフ・バランス、ライフインベントリー、男性やメディアの視点等、様々な視点からジェンダーについて、わかりやすく啓発を行った。

- (ア) ジェンダー問題講座 (5 事業、参加延人数 161 名)
 - ① ムーブ・レディス映画祭『マダム・イン・ニューヨーク』
 - ② 自分と向き合うストレスケア法
 - ③ 「レディスやはたと私」を語るサロン
 - ④ 女性のための能体験教室
 - ⑤ コミュニケーション術講座 私らしさが「伝わる」声と話し方磨き
- (イ) ワーク・ライフ・バランス推進講座(7事業、参加延人数305名)
 - ① ワークライフバランスセミナー「スマホアプリ活用~ Zoom 交流ワークショップ~|
 - ② メディアリテラシー「スマホアプリ活用~キャッシュレスと IT リテラシー |
 - ③ 子育ても"私"も大切にする3つの方法
 - ④ ジェンダー・ワークショップ 男女共同参画って何?
 - ⑤ ジェンダー・ワークショップ『マダム・イン・ニューヨーク』トーク会 ほか
- (ウ) 男性セミナー(2事業、参加延人数100名)
 - ① 男性料理教室「メンズご飯!~家族に作る愛情料理~」前期
 - ② 男性料理教室「メンズご飯!~家族に作る愛情料理~|後期
- イ 就業支援講座(26事業、参加延人数1.421名)

起業して経済的に自立するためのチャレンジを支援する起業家支援やキャリアアップ講座、就 業・再就職講座等を実施した。

- (ア) 起業家支援講座(6事業、参加延人数158名) 起業のために必要な専門知識や方法を学ぶ講座を通して、起業に向けた支援を実施した。
 - ① レディス工房ハンドメイド講座
 - ② レディス工房ハンドメイド講座 冬季
 - ③ 手作りパン教室 前期
 - ④ 手作りパン教室 後期
 - ⑤ 体にやさしい米粉を使ったお菓子とパン作り
 - ⑥ Zoom 実践編

(イ) キャリアアップ事業 (2事業、参加延人数31名)

働く人の就業能力向上を目的として、能力向上を図る講座や資格取得に関する入門講座を実施した。

- ① 宅地建物取引士入門講座
- ② キャリアコンサルタント資格取得と活かし方
- (ウ) 就業継続支援事業(1事業、参加延人数16名)
 - ① 言葉のビジネスマナー
- (エ) パソコン (8事業、参加延人数 409 名)
 - ① 就職希望者のためのワード・エクセル基礎講座
 - ② エクセル関数・基礎
 - ③ エクセル関数・活用
 - ④ パワーポイントを基礎から学ぶ ほか
- (オ) 資格取得講座(8事業、参加延人数798名)

ライフプランやキャリアプランが多様化していることから、様々な資格取得講座を実施した。講座終了後には追跡調査を実施し、就職状況等で効果の検証を行った。

- ① 社会保険労務士試験対策講座
- ② 宅地建物取引士試験対策講座
- ③ ファイナンシャルプランニング技能検定3級対策入門
- ④ 年金アドバイザー3級検定
- ⑤ CSエクセル3級検定講座 ほか
- (力) 再就職支援事業 (1事業、参加延人数9名)
 - ① 面接対策 自信と印象アップ
- ウ 生活技術講座(11事業、参加延人数293名)
 - (ア) 子育て支援事業 (7事業、参加延人数 172名)

男女が固定的な性別役割分担意識にとらわれずに、生活面のあらゆる分野に関する技術を親子で習得することを目的として講座等を実施した。

- ① 親子 de お菓子教室「季節のスイーツ」
- ② 親子 de チャレンジ!皮からつくる餃子づくり
- ③ リトルシェフ「パティシエに習う バレンタイン・スイーツー ほか



- (イ) 生活技術事業 (4事業、参加延人数 121 名) 食や趣味をとおして豊かで健康的な生活を送るための講座を実施した。
 - ① 薬膳料理教室
 - ② 美文字~くせ字よさよなら~・ボールペン字
 - ③ 知って得する年金基礎知識 ほか
- エ リプロダクティブ・ヘルス/ライツ事業 (3事業、参加延人数27名)

女性の多様な活動を支えるために、心と身体の健康を家族や職場など日常生活の中で、自分の力を維持増進できるように、技術と知識の習得の機会を提供する「リプロダクティブ・ヘルス/ライツ」に関する講座等を開催した。

- ① ムーブ・レディス三館連携「いま、なぜ『リプロダクティブ・ヘルス/ライツ(性と生殖に関する健康と権利)』?~一人ひとりの生涯にわたる健康のために~」
- ② 美肌薬膳料理教室
- ③ 女性の冷え性対策
- オ 市民活動支援・連携事業(16事業、参加延人数889名)

さまざまな活動を行っている団体やグループの情報交換、交流を促進し、ネットワーク化を図ることによって、勤労婦人センターを利用する個人、団体、グループが相互に新たな発見をし、男女共同参画社会の形成を目指すための自主的・創造的な活動ができるよう支援・連携して事業を展開した。

(ア) 市民企画事業(9事業、参加延人数436名)

男女共同参画の啓発と市民団体の育成を図ることを目的として、レディスやはた舞台ホールで市民団体と連携して事業を実施した。

- ① 舞台ホール企画 狂言
- ② レディスやはた閉館イベント Xmas ジャズコンサート
- ③ 閉館記念・レディスやはた歴史写真展
- ④ やはたのまちづくり今昔 ほか
- (イ) 友の会育成事業 (2事業、参加延人数 254 名)

市民の自主的、主体的な活動を支援するとともに、男女共同参画の理解と利用者相互の親睦を深め、生き生きとした活動が実施できるよう友の会の指導育成を図った。

- ① 保育サポーター養成講座 子育て地域育てに絵本の読みきかせを
- ② クラブ発表 フラクラブ・リノ
- ③ 友の会・利用者の会

(ウ) 国際交流事業(2事業、参加延人数66名)

外国及び日本の伝統文化や食を通して、市民が気軽に参加できる市民レベルでの相互交流と 相互理解を促進する事業を実施した。

- ① 国際理解 ハングル入門
- ② 国際交流 能楽で国際交流!!留学生とともにチャレンジ!
- (エ) 託児ボランティア (1事業、参加延人数 105 名)

再就職や社会参画を希望する育児中の能力開発等が行える環境整備として、託児業務及び託 児サポーターの養成などの事業を託児サークルの協力を得て実施した。

- ① 託児ボランティア「えくぼの会」
- (オ) 施設ボランティア (1事業、参加延人数28名)

舞台ホール企画のイベントやまちづくりなどの市民活動支援・連携事業、また閉館記念の写真展やサロンなどを実施する際など、施設ボランティアの協力を得て実施した。

カ 開館記念講演会(1事業、参加人数170名)

レディスやはたの開館記念事業として、男女共同参画の理念と実践をわかりやすく語ってもらう講演会を実施した。

(ア) 開館 43 周年記念講演会 「75 歳!!面白い年齢になってきた」 講師:村田喜代子(芥川賞受賞作家)

- キ 相談事業 (1事業、相談延人数36名)
 - (ア) 女性のための無料法律相談
- ク 情報提供事業 (3事業)

女性に関する情報、就職に関する情報及び勤労婦人センターや男女共同参画センターの事業に 関する情報など、市民にとって有益で活用を図ることのできる情報提供をホームページ等で行っ た。

(ア) 男女共同参画啓発

パネル展示「お母さんが語る女子差別撤廃条約 |

「デート DV について知ろう! |

「ワリかん!?~ワリとかんたん!?男と女のいい関係。~|

- (イ) ひまわり文庫・雑誌貸出し 772 冊
- (ウ) レディスやはた通信(年間 4 回発行)



【勤労婦人センター管理業務】

市民が安心して安全に利用でき、さらに利用しやすい施設とするため、環境面にも考慮しつつ計画的かつ効率的な設備の充実・改修を行った。

ア 施設維持管理業務

安全・安心の観点から、施設・設備の定期的な保守点検や計画的な補修を行うとともに、防災研修(消防訓練、AED操作研修等)などの職員研修を実施した。

イ 貸室業務

主催事業で利用しない施設について、市民グループ・企業等に貸出を行った(原則有料)。

レディスもじ 令和2年度貸室利用人数29.327人

≪参考:総利用者数 34,059人(うち主催事業参加延人数4,732人) ≫

レディスやはた 令和2年度貸室利用人数13,621人

≪参考:総利用者数 18,413人(うち主催事業参加延人数 4,792人)≫

ウ 施設引継業務

令和3年3月31日をもってレディスもじ、レディスやはたの両施設が閉館となり、以後は生涯学習センターとして運営されるにあたり、備品等の整理や次の管理者への設備内容の説明など、施設の引き継ぎにかかる作業を行った。

なお、両レディスにおけるこれまでの活動の足跡を取りまとめた閉館記念誌を発行した。

2 自主事業

(1) 男女共同参画センター自主事業

- ア 男女共同参画講座 (英会話)
- イ 就業支援講座 (医療事務講座、介護事務講座、パソコン講座 等)
- ウ 生活技術講座(夏休み親子木工教室)
- エ リプロダクティブ・ヘルス/ライツ事業 (シェイプアップヨガ 等)

(2) 勤労婦人センター自主事業

- ア 就業支援講座(資格取得講座、パソコン講座 等)
- イ 生活技術講座(英会話 等)
- ウ リプロダクティブ・ヘルス/ライツ事業(骨盤体操講座 等)

令和2年度 北九州市立男女共同参画センター"ムーブ"利用状況

(令和2年4月1日~令和3年3月31日)

	区分	開所日数	利用日数	利用率			利用人	員 (人)		
室名		(日)	(日)	(%)	主催事業	(男性内数)	貸室利用	(男性内数)	総利用者数	(男性内数)
ホー	-ル	271	70	25.8%	706	169	6,201	3,005	6,907	3,174
大セミナ	ールーム	271	162	59.8%	213	42	7,039	3,466	7,252	3,508
小セミナ	ールーム	271	170	62.7%	734	66	2,840	1,445	3,574	1,511
企画ル	ーム1	271	165	60.9%	285	73	1,855	840	2,140	913
企画ル	- ム2	271	191	70.5%	18	7	1,186	284	1,204	291
料理	室	271	69	25.5%	196	171	387	36	583	207
和室(茶	室兼備)	271	109	40.2%	0	0	1,074	426	1,074	426
茶室(立	礼形式)	271	21	7.7%	0	0	125	37	125	37
	専用				55	0	293	14	348	14
フィットネスルーム	個人	271	164	60.5%	4,005	591	_	_	4,005	591
	小計				4,060	591	293	14	4,353	605
	専用				36	18	399	114	435	132
工芸室	個人	271	71	26.2%	0	0	_		0	0
	小計				36	18	399	114	435	132
	専用				1,299	283	0	0	1,299	283
OA ルーム	個人	271	155	57.2%	133	45	_		133	45
	小計				1,432	328	0	0	1,432	328
グルーフ	プ活動室	271	255	94.1%	0	0	3,269	1,372	3,269	1,372
こども	の部屋	271	180	66.4%	287	75	60	23	347	98
交流	広場	271	256	94.5%	0	0	26,988	12,186	26,988	12,186
相談	全		_		3,098	740	_		3,098	740
図書・	情報室	_	_	_	18,763	11,258	_	_	18,763	11,258
合	計	_	_		29,828	13,538	51,716	23,248	81,544	36,786

男性利用率 45.1%

講師派遣参加者数・視察受入数

		F度累計 ~ R3 年 3 月)	(参考) 令和元年 (H31 年 4 月	E度累計 ∼ R2 年 3 月)
	件数	人数	件数	人数
講師派遣参加者数	11 件	1,172 人	13 件	1,434 人
視察受入数 (国内)	4 件	22 人	8 件	39 人
視察受入数 (国外)	0 件	0人	0 件	0人
合 計	15 件	1,194 人	21 件	1,473 人



令和2年度 東部勤労婦人センター(レディスもじ)利用状況

(令和2年4月1日~令和3年3月31日)

	区分	開館日数	利用日数	利用率	:	利用人員(人)		並在は
室名		(日)	(日)	(%)	主催事業	貸室利用	計	前年比
第1記	構習室	210	121	58%	95	944	1,039	40.2%
第 2 記	構習室	210	107	51%	1,019	581	1,600	52.5%
料理詞	構習室	210	32	15%	218	155	373	50.8%
和	室	210	134	64%	109	1,517	1,626	47.9%
音導	整室	210	118	56%	1,445	1,204	2,649	56.6%
	専用	210	155	74%	131	4,157	4,288	74.7%
体育室	個人	210	179	85%	0	2,752	2,752	106.8%
	小計	_		_	131	6,909	7,040	84.1%
トレーニ	ニング室	210	183	87%	14	5,885	5,899	106.7%
情報資	料室	210	127	60%	1,555	0	1,555	69.2%
談言	話室	210	210	100%	0	12,132	12,132	38.1%
託リ	己室	210	22	10%	123	0	123	48.2%
相記	炎室	210	5	2%	17	0	17	12.5%
70	D他	210	4	2%	6	0	6	1.5%
合	計	_		_	4,732	29,327	34,059	53.9%

男性の利用状況	主催事業	貸室利用	計	男性利用率
(内数で表示)	889	2,872	3,761	11.0%

令和2年度 西部勤労婦人センター (レディスやはた) 利用状況

(令和2年4月1日~令和3年3月31日)

	区分	開館日数	利用日数	利用率	:	利用人員(人)		並在い
室名		(日)	(日)	(%)	主催事業	貸室利用	計	前年比
第1記	構習室	208	105	50.5%	838	250	1,088	44.9%
第 2 記	構習室	208	55	26.4%	5	525	530	23.2%
第 3 詞	構習室	208	90	43.3%	1,211	355	1,566	47.5%
料理詞	構習室	208	30	14.4%	459	5	464	97.1%
和3	室 1	208	63	30.3%	645	1,060	1,705	58.4%
和3	室 2	208	65	31.3%	645	1,052	1,697	58.5%
舞台表	トール	208	63	30.3%	650	877	1,527	54.0%
	専用	208	124	59.6%	203	2,215	2,418	60.9%
体育室	個人	208	73	35.1%	0	333	333	51.3%
	小計	_	_	_	203	2,548	2,751	59.5%
Πt	<u>-</u>	208	189	90.9%	0	6,901	6,901	51.7%
託リ	己室	208	37	17.8%	106	48	154	126.2%
相記	炎室	208	5	2.4%	25	0	25	50.0%
70	D他	208	1	0.5%	5	0	5	18.5%
合	計	_	_	_	4,792	13,621	18,413	52.1%

男性の利用状況	主催事業	貸室利用	計	男性利用率
(内数で表示)	1,166	4,362	5,528	30.0%

収益事業等



その他事業 I:北九州市大手町ビル維持管理事業

【概況】

北九州市大手町ビル(北九州市立男女共同参画センター以外)の施設・設備の保守点検及び修繕による維持管理、ならびに光熱水費の管理を行うとともに、北九州市大手町ビルの入居団体との施設の維持管理、防災、環境などに関する連絡、調整を行った。

その他事業Ⅱ:北九州市立男女共同参画センター等の公益目的以外の貸与事業

【概況】

北九州市立男女共同参画センター及び北九州市立勤労婦人センター(東部・西部)において指定 管理事業の一環として、公益目的以外に使用する団体等に施設の貸与を行った。

法人事業



法人事業

【概況】

理事会・評議員会の開催や情報システムのセキュリティ対策、個人情報保護についての職員研修の実施など、公益財団法人として適正な管理運営を行った。また、フォーラムサポーター活動の推進や賛助会員の加入を促進した。

1 理事会・定時評議員会の開催

理事会を3回(うち1回はみなし決議)及び定時評議員会、臨時評議員会(みなし決議)を開催し、決算等の承認、理事長及び専務の職務執行状況の報告ならびに役員の交代等、公益財団法人の運営の根幹となる重要事項の決議等を行った。

第1回理事会 令和2年4月20日みなし決議

第2回理事会 令和2年6月4日開催

第3回理事会 令和3年3月12日開催

臨時評議員会 令和2年5月8日みなし決議

定時評議員会 令和2年6月26日開催

2 情報システムのセキュリティ対策及び職員研修の実施

情報システムの管理について、随時セキュリティ対策を行い、ウイルスやハッキングなどを未然 に防止した。また、個人情報保護の職員研修を実施するなど、適正な管理運営に努めた。

3 フォーラムサポーター活動の推進及び賛助会員加入の促進

フォーラムサポーターと協働で事業運営を行い、フォーラムサポーター活動の推進を図った。 また、多くの方々とのネットワークの拡大や財政基盤の強化を図るため、賛助会員の加入促進に 努めた。

【令和 2 年度実績】会費収入 417,000 円

区分	年額(1口)	加入人数	加入口数
個 人	3,000 円	79 名	79 □
団体	20,000 円	9件	9 □
学 生	1,500 円	0名	0 🏻

財務諸表

貸借対照表内訳表

令和3年3月31日現在

(単位:円)

323,166,095 323,166,095 38,867,520 6,179,678 229,584,391 329,345,773 362,033,615 67,883,888 175,00699,761,382 656,43040,314,218 40,314,218 300,000,000 23,166,095 179,000 71,356,175 1,155,8851,645,885330,991,658 39,101,518 541,180 15,090 3,118,281 490,000 402,347,833 402,347,833 盂 đП 内部取引消去 49,880,691 114,792,195 164,672,886 161,583,047 161,583,047 9,811,723 3,089,839 171,394,770 6,668,389 33,170 6,701,559 245.000245,000164,917,886 171,619,445 208,220 224,675224,675150,000,000 11,583,047 171,619,445 法人会計 3,070,687 3,070,687 3,070,687 3,070,687 3.070,687 3,070,687 3,070,687 収益事業等会計 29,055,797 3,089,839 37,018,856 11,583,048 190,638,845 公益目的事業会計 58,144,812 141,836 179,000 114,792,196 164,672,8871,155,8851,400,885166,073,772 541,18015,09037,018,856 150,000,000 161,583,048 161,583,048 61,583,929 245,000 35,822,611 639,975 227,657,701 3,118,281 49,880,691 227,657,701 (うち基本財産への充当額) (うち特定資産への充当額) うち基本財産への充当額) うち特定資産への充当額 正味財産合計 負債及び正味財産合計 その他固定資産合計 指定正味財産合計 Ш (3)その他固定資産 定期預金投資有価配券基本財産合計 (2)特定資産 特定資産合計 指定正味財産 流動資産合計 固定資産合計 一般正味財産 ĮΠ 電話加入権 流動資產 現金預金 固定資産
 (1)基本財産 正味財産の部 市補助金 什器備品 1. 流動負債 未収金貯蔵品 涶 寄付金 仮払金 米前預払受の金金金金金金金金金金金金金金金金金金金金金金 負債の部 資産の部 Ħ

(単位:円)

正味財産増減計算書内訳表 令和2年4月1日から令和3年3月31日まで

		公益目的事業会計			収益事業等会計			
極	日本及びアジア地域の 女性の地位向上を図る事業	男女共同参画社会の 形成を推進する事業	小計	北九州市大手町 ビル維持管理事業	男女共同参画センター 公益目的外貸与事業	小計	法人会計	中計
I 一般正味財産増減の部								
1. 経常増減の部								
(1)経常収益								
基本財産運用益	1,604,338		1,604,338				1,849,340	3,453,678
受取会費	208,500		208,500				208,500	417,000
事業収益	48,025		48,025					48,025
指定管理施設自主事業収益		6,254,005	6,254,005					6,254,005
委託料収益	2,723,441		2,723,441					2,723,441
北九州市委託金収益		283,772,531	283,772,531	38,635,260	32,144,209	70,779,469		354,552,000
受取補助金等	25,288,810		25,288,810				13,711,190	39,000,000
雑収益	31,780	17,060	48,840				60,484	109,324
経常収益計	29,904,894	290,043,596	319,948,490	38,635,260	32,144,209	70,779,469	15,829,514	406,557,473
(2)経常費用								
事業費	29,904,894	289,981,097	319,885,991	38,635,260	32,144,209	70,779,469		390,665,460
管理費	0		0				15,369,566	15,369,566
経常費用計	29,904,894	289,981,097	319,885,991	38,635,260	32,144,209	70,779,469	15,369,566	406,035,026
当期経常増減額	0	62,499	62,499	0	0	0	459,948	522,447
2. 経常外増減の部								
(1)経常外収益								
経常外収益計								
(2)経常外費用								
経常外費用計		151,323	151,323					151,323
当期経常外増減額		▲ 151,323	▲ 151,323					▲ 151,323
当期一般正味財産増減額	0	► 88,824	▲ 88,824	0	0	0	459,948	371,124
一般正味財産期首残高	9,049,314	20,095,307	29,144,621	0	0	0	9,351,775	38,496,396
一般正味財産期末残高	9,049,314	20,006,483	29,055,797	0	0	0	9,811,723	38,867,520
エ 指定正味財産増減の部								
基本財産運用益	1,726,838		1,726,838				1,726,840	3,453,678
一般正味財産への振替額	1,726,838		1,726,838				1,726,840	3,453,678
当期指定正味財産増減額	0		0				0	0
指定正味財産期首残高	161,583,048		161,583,048				161,583,047	323,166,095
指定正味財産期末残高	161,583,048		161,583,048				161,583,047	323,166,095
加 正味財産期末残高	170,632,362	20,006,483	190,638,845	0	0	0	171,394,770	362,033,615

財務諸表に対する注記

令和3年3月31日現在

1. 継続事業の前提に関する注記

継続事業を行うにあたって、重要な疑義を抱かせるような事象または状況は存在しない。

2. 重要な会計方針

- (1) 「公益法人会計基準」(平成 20 年 4 月 11 日 平成 26 年 10 月 16 日改正内閣府公益認定等委員会)を採用している。
- (2) 有価証券の評価基準及び評価方法 満期保有目的の債券・・・取得原価
- (3) 固定資産の減価償却方法 什器備品・・・定率法 無形固定資産・・・定額法
- (4) 消費税の会計処理 消費税の会計処理は税込方式によっている。

3. 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

(単位:円)

科目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産				
定期預金	6,382	99,755,000	0	99,761,382
投資有価証券	329,339,391	0	99,755,000	229,584,391
小 計	329,345,773	99,755,000	99,755,000	329,345,773
合 計	329,345,773	99,755,000	99,755,000	329,345,773

4. 基本財産及び特定資産の財源等の内訳

基本財産及び特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

(単位:円)

科目	当期末残高	(うち指定正味財産からの充当額)	(うち一般正味財産からの充当額)	(うち負債に対応する額)
基本財産				
定期預金	99,761,382	(99,755,000)	(6,382)	-
投資有価証券	229,584,391	(223,411,095)	(6,173,296)	-
小 計	329,345,773	(323,166,095)	(6,179,678)	_
合 計	329,345,773	(323,166,095)	(6,179,678)	_

5. 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高

固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は、次のとおりである。

(単位:円)

科目	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
その他の固定資産			
什器備品	12,274,529	11,118,644	1,155,885
小 計	12,274,529	11,118,644	1,155,885
合 計	12,274,529	11,118,644	1,155,885

6. 満期保有目的の債券の内訳並びに取得価額、時価及び評価損益

(単位:円)

科目	取得価額	時 価	評価損益
投資有価証券			
第 311 回 10 年国債	定期預金へ		
29 神奈川県 20 年債	200,000,000	226,160,000	26,160,000
新潟県 25 年度第1回公債	20,000,000	20,337,720	337,720
第 61 回利付国債 20 年	9,484,391	9,763,786	279,395
155 共同発行地方債	100,000	101,010	1,010
合 計	229,584,391	256,362,516	26,778,125

7. 補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高

補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高は、次のとおりである。

(単位:円)

補助金等の名称	交付者	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高	貸借対照表上の 記載区分
補助金 市補助金 受取市補助金	北九州市 北九州市	300,000,000	0 39,000,000	0 39,000,000	300,000,000	指定正味財産 一般正味財産
合 詩	计	300,000,000	39,000,000	39,000,000	300,000,000	

8. 指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳

指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳は、次のとおりである。

(単位:円)

	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·
内 容	金 額
経常収益への振替額	
基本財産利息(29 神奈川県 20 年債)	2,578,000
基本財産利息(第 311 回 10 年国債)	645,000
基本財産利息(新潟県25年度第1回公債)	130,000
基本財産利息(第61回利付国債20年)	95,500
基本財産利息(155 共同発行地方債)	220
基本財産利息(福岡銀行定期預金)	0
基本財産利息(大和ネクスト銀行定期預金)	4,958
小 計	3,453,678
合 計	3,453,678

9. 関連当事者との取引の内容

該当なし

10. 重要な後発事象

該当なし

資 料

公益財団法人アジア女性交流・研究フォーラムの歩み

- 1989年8月23日 北九州市の「自ら考え自ら行う地域づくり事業 (ふるさと創生事業)」として「アジア の女性の研究・研修システム (仮称) アジア女性フォーラム」が 101 の案の中から選 定される。
 - 11月1日 アジア女性フォーラム(仮称)の基本構想について検討し、総合的な提言を得るため、 北九州市長の私的諮問機関として、元労働省婦人少年局長高橋久子氏を委員長とする 「アジア女性フォーラム基本構想委員会」が設置される。
 - 12月26日 基本構想委員会が、組織の正式名称を「アジア女性交流・研究フォーラム」とすることを提言し、名称が決定する。
- 1990年 1 月19日 東京ドームで開催された「ふるさと創生展」において、アジア女性交流・研究フォー ~ 21 日 ラムの目指す事業が、マルチスライドを使って紹介される。
 - 2月11日 北九州市の7区に組織されている「女性会議実行委員会」の主催により、アジア女性 ~3月24日 交流・研究フォーラムの設立気運を盛り上げるため、各区においてシンポジウム・交 流会・展示会・講演会等「アジア女性フォーラム各区イベント」が開催される。
 - 3月30日 基本構想委員会が「アジア女性交流・研究フォーラム基本構想」を北九州市長に提言 する。
 - 3月31日 「'90 アジア国際シンポジウム」(テーマ:アジア・女性・未来~共に考え共に歩もう) を開催する。
 - 6月~9月 第1回アジアセミナーを開催する。(~2000年まで毎年開催)
 - 7月5日 アジア女性交流・研究フォーラムのより具体的な活動について検討するため、北九州市長の私的諮問機関として、「アジア女性交流・研究フォーラム懇談会」が設置される。
 - 7月23日 アジア女性交流・研究フォーラム提言をもとに基本構想が策定される。
 - 10月20日 アジア女性交流・研究フォーラム設立 (理事長 高橋久子)
 - 10月20日 アジア女性交流・研究フォーラムの設立を記念して、伊東すみ子東京高等裁判所判事を講師として、「国際社会における女性の役割」をテーマに講演会を開催する。
 - 10月 共同研究事業「開発が女性と家族に与える影響」が開始される。
- 1991年3月9日「第1回アジア女性会議―北九州」(テーマ:アジアと女性の今)を開催する。
 - ~ 10日 (以後毎年開催)
 - 3月 情報誌『Asian Breeze』創刊
 - 4月 プロジェクト研究事業が開始される。
 - 5月 海外通信員制度始まる。(以後毎年実施)
 - 12月 1 日 「第 2 回アジア女性会議—北九州」(テーマ:政策決定における女性)を開催する。 ~ 2 日
- 1992年3月18日 「第1回女性の地位向上のための行政官セミナー(2002年からは「ジェンダー主流化 ~ 27日 政策のための行政官セミナー」、2010年からは「行政官のためのジェンダー主流化政 策 | に名称変更) | (JICAの委託事業)を開催する。(以後毎年開催)
 - 7月24日 1993年10月を目標に財団法人化を図るため、基本財産積み立てのための募金活動を 行う募金委員会が理事等の役員を中心に発足し、募金活動を開始する。
 - 11月13日 「第3回アジア女性会議—北九州」(テーマ:環境と開発と女性)を開催する。 ~ 15 日
 - 11月24日 国連婦人開発基金(ユニフェム)の活動を支援するための組織として、ユニフェム日本国内委員会を国際婦人年連絡会および財団法人横浜女性協会とともに設立し、その正会員となる。

- 1993年3月 『アジア女性シリーズ』第1号が発刊される。(中国)
 - 5月 「国際理解のための教材ビデオ」制作事業を開始する。
 - 9月17日 財団法人アジア女性交流・研究フォーラム設立発起人会を開催する。
 - 9月22日 労働省より、財団法人としての設立を許可される。
 - 10月1日 財団法人アジア女性交流・研究フォーラム設立 (理事長 高橋久子)
 - 11月19日 「第4回アジア女性会議—北九州」(テーマ:地球の未来と人口)を開催する。 ~ 21 日
- 1994年 2 月 8 日 高橋久子理事長が最高裁判所判事就任のため理事長を辞任する。三隅佳子専務理事が 理事長代行となる。
 - 4月 共同研究事業「アジアの働く女性シリーズ」を開始する。
 - 9月1日 第1回海外通信員セミナーを開催する。

~ 8 ∃

11月18日 「第5回アジア女性会議—北九州」(テーマ:女性と家族)を開催する。

 ~ 20 日

- 1995年4月1日 北九州市から北九州市立女性センターの管理運営業務の委託を受ける。
 - 6月15日 事務所を北九州市大手町ビルに移す。
 - 6月22日 第2代理事長に奥田八二氏が就任する。
 - 7月1日 北九州市立女性センターのオープニングイベントを開催する。

~ 8日

- 9月4日 国連婦人の地位委員会のオブザーバー参加資格を得る。国連第4回世界女性会議にオ ~ 11 日 ブザーバー参加する。また、NGO フォーラムにも参加し、ワークショップを開催する。
- 11月17日 「第6回アジア女性会議―北九州」(テーマ:女性と労働)を開催する。

~ 19日

- 1996年2月16日 「第1回環境と開発と女性セミナー」(JICAの委託事業) を開催する (~2008年まで~3月21日 毎年開催)
 - 11月15日 「第7回アジア女性会議―北九州」(テーマ:女性とメディア)を開催する。

 ~ 17 日

- 1997年1月 ホームページを開設する。
 - 4月1日 三隅佳子専務理事が理事長代行となる。
 - 9月22日 「客員研究員制度」を設置する。
 - 11月 7日 「第 8 回アジア女性会議—北九州」(テーマ:女性と教育)を開催する。 ~ 9 日
- 1000年 0月04日 佐 0 小田市日
- 1998年3月24日 第3代理事長に高橋久子氏が就任する。
 - 6月 「国際協力カレッジ」を開催する。
 - 10月10日 財団設立5周年記念事業を実施する。
 - 11月7日 「第9回アジア女性会議―北九州」(テーマ:ジェンダーの視点の主流化(メインスト ~ 8日 リーム)をめざして)を開催する。
 - 12月12日 地球市民教育地域セミナーを開催する。

~ 13日

- 1999年4月12日「ジャパン・ソサエティ地方政治・公共政策フェローシップ事業」を実施する。
 - 9月 「フォーラム懇話会」を実施する。
 - 10月17日 「女性起業家支援塾」(北九州市立女性センターの委託事業)を開催する。

~ 31 ∃

- 11月6日 「第10回アジア女性会議―北九州」(テーマ:男女共同参画の世紀を拓く〜女性2000 ~ 7日 年会議とその後〜)を開催する。
- 2000年1月9日「女性起業家スタディツアー」(アメリカ サンフランシスコ)を実施する。

 ~ 15 日

- 6月5日 国連特別総会「女性 2000 年会議—21 世紀に向けての男女平等・開発・平和」にオブ ~ 9日 ザーバーとして参加する。
- 6月5日 「女性 2000 年会議」に関連した NGO のシンポジウム「北京 + 5 グローバルフェミニ
- ~ 8日 ストシンポジウム (アメリカ ニューヨーク)」に参加する。またワークショップを開催する。
- 9月3日 北九州市で開催された「アジア・太平洋環境大臣会議」の関連事業として「アジア・太平洋環境女性会議(第11回アジア女性会議―北九州)」を開催する。
 - 11月 自治大臣表彰「世界に開かれたまちづくり」を受賞する。
- 12月28日 理事長制から会長制へ移行、その他諸規定についての寄附行為変更が認可される。
- 2001年2月25日 「環境問題を考えるスタディツアー (マレーシア)」を実施する。

~ 3月5日

- 4月1日 原ひろ子氏が初代会長に、第4代理事長に三隅佳子氏が、前理事長の高橋久子氏が顧問に、それぞれ就任する。
- 7月26日 「持続可能な開発に関する世界首脳会議 (WSSD) 北東アジア準備会合及びマルチス ~ 28日 テークホルダー会合 (中国 北京)」に参加する。
- 7月~9月 北九州博覧祭 2001の関連事業を実施する。
 - ・JICA 研修員による報告「世界から日本へ!日本から未来へ」
 - ・渥美雅子弁護士男女共同参画型講談「山内さんちのパートナーシップ」
 - 9月12日 「第1回北東アジア女性環境会議(韓国 ソウル)」に参加する。

 $\sim 16 \exists$

- 10月6日 「第12回アジア女性会議―北九州」(テーマ:自分らしく健康に生きる~ジェンダーを~7日 超えて)を開催する。
- 11月24日 「持続可能な開発に関する世界首脳会議(WSSD)に向けてのハイレベル地域会合及び ~ 12 月1日 持続可能な開発に関するアジア太平洋ラウンドテーブル(カンボジア プノンペン)」 に参加する。
- 11月28日 「アフガニスタン女性と子どもの写真展」とアフガニスタンセミナー Part1 を開催する。 ~ 12 月 2 日
- 2002年 1 月18日 環境シリーズセミナー「リオ+ 10 ヨハネスブルグ・サミットにむけて世界の準備状況」を開催する。
 - 2月9日 北九州市と東京で「円卓会議:持続可能な開発に関する世界首脳会議(ヨハネスブル ~17日 グ・サミット)に向けて」を開催する。
 - 3月1日 第46回国連女性の地位委員会 (CSW) (アメリカ ニューヨーク) に参加する。 ~ 10 日
 - 3月22日 アフガニスタンセミナー Part2 を開催する。
 - 3月23日 「WSSD 第3回準備会合 (アメリカ ニューヨーク)」に参加する。

~ 4月5日

3月25日 「環境問題を考えるスタディツアー (中国、韓国)」を実施する。 ~30日

- 4月1日 北九州市立女性センターの名称を北九州市立男女共同参画センターに変更する。
 - 7月 国連経済社会理事会の NGO 協議資格を九州で初めて取得する。
- 7月31日 国際協力事業団 (JICA) 国際協力功労者表彰を受賞する。
- 8月23日 「持続可能な開発に関する世界首脳会議」(ヨハネスブルグ・サミット) に参加(フォー
- ~ 9月5日 ラムの主任研究員は日本政府代表の顧問を務めた)し、各国女性 NGO とワークショップを開催する。
 - 10月12日 日本・中国・韓国・モンゴルからの女性環境活動家が集い、「第2回北東アジア女性環 ~ 14日 境会議 (第13回アジア女性会議—北九州)」を北九州市と東京で開催する。
- 2003年 3 月 2 日 第 47 回国連女性の地位委員会 (CSW) (アメリカ ニューヨーク) に参加する。 ~ 16 日

3月16日 第3回世界水フォーラム(京都、滋賀、大阪)に参加する。

~ 21日

- 5月 「国際協力カレッジ」から名称を変更した「KFAW カレッジ」を開催する。
- 5月17日 北九州市女性史の編纂を行うため北九州市女性史編纂実行委員会の設立に参画する。
- 10月11日 財団設立10周年記念事業を実施した。
 - 12日 「第 14 回アジア女性会議—北九州」(テーマ:女性のエンパワーメントと ICT)を開催 する。
- 2004年 2 月26日 第 48 回国連女性の地位委員会 (CSW) (アメリカ ニューヨーク) に参加する。

~ 3月13日

- 6月29日 「アジア太平洋 NGO フォーラム」参加スタディツアー(タイ バンコク)を実施する。
- ~ 7月4日
 - 9月7日 国連アジア太平洋経済社会委員会ハイレベル会議(タイ バンコク)に参加する。

~ 10日

- 11月6日 「第15回アジア女性会議—北九州」(テーマ:北京+10に向けて 人間の安性保障と ~7日 ジェンダー)を開催する。
- 2005年2月28日 第 49 回国連女性の地位委員会 (CSW)「北京 + 10」閣僚級会合 (アメリカ ニュー ~ 3 月6日 ヨーク) に参加する。
 - 11月 5 日 「第 16 回アジア女性会議—北九州」(テーマ:歴史を拓いた女性たち)を開催する。 ~ 6 日
 - 12月7日 『北九州市女性の100年史 おんなの軌跡 北九州』を発刊する。
- 2006年 1 月16日 「インドで考える女性や子どもの人権スタディツアー」を実施する。 ~ 23 日
 - 2月27日 第50回国連女性の地位委員会(CSW)に参加する。
 - ~ 3月10日
 - 2月19日 「ノーベル平和賞受賞者 ワンガリ・マータイさんと語る 北九州市民・環境フォーラム 世界の環境首都をめざして」を開催(エコライフステージ実行委員会との共催) する。
 - 4月1日 北九州市立男女共同参画センターの指定管理者となる。
 - 9月28日 北九州 ESD (持続可能な開発のための教育) 協議会(44 団体) が設立される。
 - 10月 環境省「国連持続可能な開発のための教育の10年促進事業」の認定を受けた。
 - 10月15日 『新聞にみる北九州市女性の100年史 おんなの軌跡・北九州』を発刊する。

- 11月11日 北九州市女性史演劇「秋の三色すみれ」を上演する。
 - ~ 12日
- 11月18日 「第17回アジア女性会議―北九州」(テーマ:公正で豊かな未来を創る〜持続可能な開 ~19日 発のための教育とは〜)を開催する。
- 12月5日 国連大学から持続可能な開発のための教育を推進するため、北九州市が「地域の拠点 (RCE)」に認定される(日本で4番目)。
- 2007年2月26日 第51回国連女性の地位委員会(CSW)に参加する。
 - ~ 3月9日
 - 3月1日 「アボリジニ女性のエンパワーメントとアートを活かしたまちづくりスタディツアー ~8日 (オーストラリア)」を実施する。
 - 4月1日 原ひろ子氏が顧問に、三隅佳子氏が第2代会長に、吉崎邦子氏が第5代理事長に、それぞれ就任する。 北九州 ESD 協議会の事務局となる。
 - 10月12日 持続可能な開発のための教育 (ESD) をテーマにスタディーツアー (韓国) を実施す ~ 16 日 る。
 - 11月10日 「第 18 回アジア女性会議—北九州」(テーマ:つながる ひろがる 地球の未来)を開催 \sim 11日 する。
 - 12月14日 在福岡アメリカ領事館とミャンマー民主化講演会を共催する。
- 2008年2月22日 第52回国連女性の地位委員会(CSW)に参加する。
 - ~ 3月7日
 - 3月10日 海外拠点づくりの第一歩として姉妹都市の韓国・インチョン広域市を訪問する。
 - ~ 12 [□]
 - 4月 KFAW アジア研究者ネットワーク立ち上げの準備をする。
 - 5月26日 仁川 YWCA の一行(11名)が来北する。
 - 6月25日 韓国・忠清南道女性政策開発院(CWPDI)主催の国際会議に参加・日本の現状を発表 する。
 - 9月6日 財団設立15周年記念講演会「アジア・太平洋地域の女性の現状」を実施する。
 - 11月15日 CWPDIと日韓国際セミナーを共同で開催する。
 - 11月15日 「第 19 回アジア女性会議—北九州」(テーマ:地球を食べる、地球で食べる—あなたは ~ 16 日 食を通して何を考えますか?)を開催する。
- 2009年2月27日 第53回国連女性の地位委員会 (CSW) に参加し、KFAW 主席研究員がサイドイベン ~ 3 月6日 トで「東アジアにおけるケアネットワークの必要性」のテーマで意見発表を行う。
 - 3月31日 北九州 ESD 協議会事務局が北九州市環境局に移管される。
 - 4月1日 三隅佳子氏が顧問に就任する。
 - 6月 ジェンダー関連研究者のネットワークのキックオフ(KFAW アジア研究者ネットワーク)。
 - 8月6日 北九州 YMCA とロシア・チェリャビンスク国立大学東洋学科学生一行(7名)との交流プログラムを実施する。
 - 8月10日 在福岡アメリカ領事館と共催でサマーセミナー「ミッシェル・オバマ;アメリカを変革するファーストレディ」を開催する。
 - 9月13日 第2回日韓国際セミナー「大地から食卓へ―ジェンダーの視点で食の安全を考える」を開催する。
 - 9月29日 北九州市・大連市友好協定 30 周年記念チャーター便で、大連市婦女連合会一行がムーブ (KFAW) を訪問する。

- 10月26日 在日シンガポール大使館と共催で国際セミナー「シンガポールの女性はいま」を実施する。
- 11月2日 韓国・忠清南道女性政策開発院(CWPDI)と学術交流協定を締結する。
- 11月28日 「第 20 回アジア女性会議―北九州」(テーマ:現在(いま)、世界の女性たちは―北九 ~ 29日 州から世界を視(み)る―)を開催する。
- 2010年 2 月26日 第 54 回国連女性の地位委員会 (CSW) に参加する。
 - ~ 3月7日
 - 3月1日 第54回国連女性の地位委員会 (CSW) パラレルイベントにて、韓国・忠清南道女性 政策開発院 (CWPDI) と共同セミナー「女性のエンパワーメントに向けた取組みと課題~日本と韓国の経験から」を開催する。
 - 6月1日 韓国・忠清南道女性政策開発院 (CWPDI) と共同で、2010 CWPDI 開院 11 周年韓日 共同セミナー (第3回日韓共同セミナー) 「韓日女性の地域における政治参加の拡大政 策」を韓国で開催する。
 - 7月30日 中国・大連市婦女連合会を訪問。今後の交流について協議する。
 - 7月 大連市婦女連合会から「北九州市男女共同参画センター設立 15 周年」を祝すメッセージが届く。
 - 10月 東アジア学会 20 周年記念大会にて、賛助会員として表彰される。
 - 11月13日 「第 21 回アジア女性会議—北九州」(テーマ:世界の子育で—子ども・親・社会のカタ ~ 14 日 チ—)を開催する。
- 2011年1月22日 北九州市立大学と共催で、国際シンポジウム「国際結婚と多文化共生」を開催する。
 - 1月~2月 KFAW デート DV 予防教育ファシリテーター養成講座を開催する。(全4回)
 - 2月26日 第55回国連女性の地位委員会 (CSW) に参加し、サイドイベント「日本において農
 - ~ 3月3日 林漁業に従事する女性たちのエンパワーメント」において、主席研究員がパネリスト として発表する。
 - 4月1日 北九州市立男女共同参画センター・ムーブ、北九州市立東部勤労婦人センター、北九 州市立西部勤労婦人センターの指定管理者となる。
 - 8月 市内高校、大学等の約 5,000 人を対象に、デート DV 予防教室講師派遣事業を実施する。(~2012 年 3 月)
 - 8月31日 学術交流協定締結機関 韓国・忠清南道女性政策開発院(CWPDI)を訪問する。
 - 9月1日 韓国・仁川発展研究院を訪問し、交流協力協定を締結する。
 - 11月26日 「第 22 回アジア女性会議―北九州」(テーマ:災害と向き合う―東日本大震災から学ぶ) ~ 27 日 を開催する。
 - 11月27日 KFAW 日韓共同研究報告会(第 4 回日韓セミナー)「子育て支援ネットワーク―日韓比較 | を開催する。
 - 12月 女子学生のためのキャリア形成プログラムの作成に着手する。
- 2012年2月26日 第56回国連女性の地位委員会 (CSW) に参加し、パラレルイベント「日本の農村女 ~ 3月4日 性のエンパワーメント―経済のグローバル化と東日本大震災の影響下で」を開催し、主席研究員他が報告する。
 - 11月10日 「第 23 回アジア女性会議―北九州」(テーマ:力を合わせよう―女性、女児への暴力をなくすために)を開催する。
 - 12月8日 第23回 KFAW 研究員報告会を開催する。

- 2013年2月2日 ワールドリポート (第5回日韓セミナー) 「日韓米の多文化共生」を開催する。
 - 3月2日 第57回国連女性の地位委員会 (CSW) に参加し、パラレルイベント「アジア女性交 ~ 8 日 流・研究フォーラムのデート DV/DV 防止に向けた取り組み」を開催する。
 - 4月1日 **公益財団法人に移行** 第6代理事長に堀内光子氏が就任する。
 - 8月10日 DV 防止講演会/デート DV 予防教育ファシリテーター・フォローアップ講座を実施する。
 - 9月~10月 女子学生のためのキャリア形成プログラムを市内大学3校で試験的に実施する。
 - 11月9日 財団設立20周年記念事業として、「第24回アジア女性会議―北九州」(テーマ:女性の活躍が日本、世界を変える)を開催する。
 - 11月10日 財団設立 20 周年記念事業として、北九州市・仁川広域市女性団体文化交流会を開催する。
- 2014年2月2日 第24回 KFAW 研究員報告会を開催する。
 - 2月23日 KFAW スタディツアー「フィリピンで学ぶ国際協力」を実施する。
 - ~ 3月2日
 - 4月11日 第58回国際女性の地位委員会(CSW)帰国報告会を開催する。
 - 5月~12月 女子学生のためのキャリア形成プログラムを市内大学5校で実施する。
 - 8月10日 DV 防止講演会/デート DV 予防教育ファシリテーター・フォローアップ講座を実施する。
 - 10月20日 仁川広域市を訪問し、ジェンダー関連組織・施設への訪問や女性団体主催セミナー及 ~ 22日 び交流会に参加する。
 - 12月3日 ニューヨーク国連本部経済社会局統計部に協力して、国連ジェンダー統計専門家会合 ~ 5日 を開催する。
 - 12月6日 「第25回アジア女性会議―北九州」(テーマ:女性の働き方としての起業)を開催する。
- 2015年1月22日 海外通信員を招へいして、ワールドリポート「いま、アジアの女性たちは〜海外通信 ~ 25日 員を囲んでアジアを知ろう」を開催するとともに、市内の小学生と大学生を対象とし た国際交流プログラムを実施する。
 - 2月7日 第25回 KFAW 研究報告会を開催する。
 - 2月23日 KFAW スタディツアー「フィリピンで学ぶ国際協力」を実施する。
 - ~ 3月4日
 - 5月15日 第59回国連女性の地位委員会 (CSW) 帰国報告会を開催する。
 - 6月~12月 キャリア形成プログラムを市内大学4校及び市内高校1校で実施する。
 - 6月12日 第 26 回 KFAW 研究報告会を開催する。
 - 9月5日 KFAW スタディツアー「ベトナムとカンボジアで学ぶ国際協力」を実施する。 ~ 12 日
 - 9月19日 DV 防止講演会/デート DV 予防教育ファシリテーター・フォローアップ講座を実施する。
 - 10月 「市内製造業の女性活躍推進に関する調査 | を実施する。
 - ~ 2016年3月
 - 10月31日 「第26回アジア女性会議―北九州」(テーマ:女性の活躍推進に向けて〜アジアと連携して)を開催する。
 - 11月1日 ハノイ女性連盟と北九州市の女性団体との交流会を実施する。
- 2016年1月23日 ワールドリポート「いま、世界の女性たちは~世界の行政官を囲んで~」を開催する。
 - 2月14日 第27回 KFAW 研究報告会を開催する。

- 5月19日 第60回国連女性の地位委員会(CSW60)帰国報告会を開催する。
- 7月8日 WWAS 国際会議フォローアップ会議 北九州タウンミーティング(テーマ:高齢化する社会と地域における女性の活躍)を開催する。
- 9月6日 ハノイ女性連盟との共同企画「ハノイスタディツアー 2016」を実施する。 ~ 10 日
- 9月~11月 高校生向けキャリア形成プログラムを自由ヶ丘高校及び八幡西生涯学習総合センターで実施する。
 - 11月26日 「第27回アジア女性会議—北九州」(テーマ: "誰一人取り残さない"世界の実現~SDGs(持続可能な開発目標)の達成のために何ができるか)を開催する。
 - 12月14日 「KFAW 仙台スタディツアー 2016」を実施する。 ~ 16 日
- 2017年2月25日 ワールドリポートセミナー「女性と災害」を開催する。
 - 3月28日 第28回 KFAW 研究報告会を開催する。
 - 5月15日 「2017 年 GSW ポストカンファレンス in 北九州〜明日のキャリアを見つけよう!〜」 を開催する。
 - 6月23日 第61回国連女性の地位委員会帰国報告会(CSW61)を開催する。
 - 7月~9月 高校生向けキャリア形成プログラムを自由ヶ丘高校及び北九州市立ユースステーションで実施する。
 - 11月25日 「第28回アジア女性会議-北九州」(テーマ:あなたの老後、だれが看るの?~高齢者の介護をジェンダーと外国人の受け入れの視点で考えます~)を開催する。
- 2018年 1 月17日 「KFAW 台湾スタディツアー 2017」を実施する。

~ 20日

- 3月25日 第29回 KFAW 研究報告会を開催する。
- 6月14日 第62回国連女性の地位委員会 (CSW62) 帰国報告会を開催する。
- 8月~9月 高校生向けキャリア形成プログラムを自由ヶ丘高校及び北九州市立ユースステーションで実施する。
 - 10月4日 ワールドリポートセミナー 国連女子差別撤廃委員会 パトリシア・シュルツ委員講演会「女子差別撤廃条約のより深い理解のために」を開催する。
 - 11月17日 「第 29 回アジア女性会議 北九州」(テーマ:オリンピック・パラリンピックとジェンダー)を開催する。
 - 12月11日 「KFAW タイ・スタディツアー 2018」を実施する。

~ 16日

- 2019年 3 月24日 第 30 回 KFAW 研究報告会を開催する。
 - 6月13日 第63回国連女性の地位委員会(CSW63)帰国報告会を開催する。
 - 7月~8月 高校生向けキャリア形成プログラムを自由ヶ丘高校及び北九州市立ユースステーションで実施する。
 - 10月19日 第 30 回アジア女性会議 北九州」(テーマ: みんなでつくろう、未来〜北京女性会議から 25 年を控えて〜)を開催する。
- 2020年1月18日 国際理解セミナー「アジアで最も男女平等が進む国・フィリピン講演会」を開催する。
 - 2月9日 国際理解セミナー「のびのび communication \sim 国とジェンダーをこえて \sim 」)を開催する。

- 10月8日 第31回アジア女性会議-北九州」(テーマ:気候変動とジェンダー)を開催する。
- 11月14日 令和2年度第1回アジアジェンダー研究者ネットワークセミナー(テーマ:女子差別 撤廃条約とSDGs - ジェンダー格差先進国最下位から脱却するために -)を開催する。
- 12月6日 第31回 KFAW 研究報告会を開催する。(3月開催を予定していた分の延期開催)
- 2021年3月16日 第32回 KFAW 研究報告会を開催する。
 - 3月21日 第65回国連女性の地位委員会(CSW65)NGO フォーラム パラレルイベント(テーマ: Youth talk: climate action and gender (若者による討論: 気候変動アクションとジェンダー))を開催する。
 - 3月 Twitter、Instagram アカウント開設

刊行物一覧

(1) 出版物

アジア女性研究

アジア女性研究	 創刊号	アジアにおける開発と女性	1,000円 (品切れ)
アジア女性研究	第2号	環境・開発・女性	1,000円
アジア女性研究	第3号	A 地球の未来と人口問題 B アジアの女性と人口問題	1,000円
アジア女性研究	第4号	女性と家族	1,000 円
アジア女性研究	第5号	女性と労働	1,000 円
アジア女性研究	第6号	女性とメディア	1,000 円
アジア女性研究	第7号	女性と教育	1,000 円
アジア女性研究	第8号	ジェンダーの視点の主流化をめざして	1,000 円
アジア女性研究	第9号	男女共同参画の世紀を拓く	1,000 円
アジア女性研究	第 10 号	ジェンダー主流化に向けて	1,000円(品切れ)
アジア女性研究	第 11 号	ジェンダーと健康	1,000円 (品切れ)
アジア女性研究	第 12 号	持続可能な開発―ジェンダーの視点から	1,000円(品切れ)
アジア女性研究	第 13 号	ICT とジェンダー	1,000 円
アジア女性研究	第 14 号	人間の安全保障とジェンダー	1,000 円
アジア女性研究	第 15 号	グローバル化とジェンダー	1,000 円
アジア女性研究	第 16 号	ジェンダーと政治(ポリティクス)	1,000 円
アジア女性研究	第 17 号	福祉とジェンダー	1,000 円
アジア女性研究	第 18 号	科学とジェンダー	1,000 円
アジア女性研究	第 19 号		*
アジア女性研究	別冊	アジア女性学の動向	200 円
アジア女性研究	第 20 号		*
アジア女性研究	第 21 号		*
アジア女性研究	第 22 号		*
アジア女性研究	第 23 号		*
アジア女性研究	第 24 号		*
アジア女性研究	第 25 号		※ (品切れ)
アジア女性研究	第 26 号		*
アジア女性研究	第 27 号		*
アジア女性研究	第 28 号		*
アジア女性研究	第 29 号		*
アジア女性研究	第 30 号		*

[※]配布、ホームページからダウンロード

KFAW 調査研究報告書

No.2010-1	インド、ケーララ州の女子教育とジェンダー平等一現状と課題一	*
No.2010-2	日本の犯罪報道における女性 全国紙・地方紙の場合	*
No.2010-3	外国籍女性とその子ども達の社会包摂 一福岡県のフィリピン人およびタイ人女性の 多文化共生一	*
No.2011-1	Women's Empowerment through Collective Actions: The Case of Makth Federation in Andhra Pradesh, India [女性のエンパワーメントのための] 題解決型アプローチ—インド、アンドラ・プラデシュ州、マクタール女性連を事例として—]	al 問 器
	Federations as Collective Actions of <i>Sanghams</i> : The Case of Makthal in Andhra Pradesh	in

No.2012-1	ジェンダー主流化に向けたアクションとアウトカム —JICA 集団研修「ジェンダー主流化」フォローアップ調査をもとに—	*
	Promoting Gender Mainstreaming around the World: Results of a Follow-up Survey on the JICA Training Course on Gender Mainstreaming	*
No.2012-2	農村女性起業家の事業継続を支援するための調査・分析・ネットワーク開発に 関する研究	*
No.2012-3	アジア地域における移行経済国から日本への女性の結婚移住 —インドシナ難民家族と滞日中国人家族における移民女性の事例から—	*
No.2013-1	津波被災地の復興における女性の役割 一インドネシアのアチェ州と東北地方の比較を通して一	*
No.2013-2	現代台湾における子育てをめぐる言説の諸相とジェンダー	*
No.2014-1	夫婦間の性別役割分業はなぜ変わらないのか 一既婚女性へのインタビュー調査から探る—	*
No.2014-2	グローバリゼーションに対する認識と英語力 一日本人女性と韓国人女性との比較—	*
No.2015-1	地域における女性団体の活動に関する研究 一北九州市の女性団体を中心に一	*
No.2015-2	移住によって潜在能力は発揮できるか? ―ジェンダーの視点で見た滞日ネパール人の特徴―	*
No.2015-3	台湾・マレーシアにおける暴力被害者支援の研究	*
No.2016-1	第1回 WWAS 国際会議フォローアップ会議 北九州タウンミーティング 「高齢化する社会と地域における女性の活躍」報告書	*
No.2017-1	アジアにおける性的マイノリティの人権と市民社会 一台湾、シンガポール、日本の比較研究を中心に—	*
No.2017-2	日本における外国人ケア労働者の受け入れと育成をめぐる現状と課題: ジェンダーの視点からの分析	*
No.2018-1	「テレワークによる「女性活躍」についての研究	*
No.2018-2	日中における幼児教育とジェンダー ―「教育家族」の中の父親役割―	*
No.2018-3	「持続可能な開発目標(SDGs)におけるジェンダー視点の主流化に関する 研究:日本と諸外国の自発的国家レビューの比較」	*
No.2019-1	地方議会の女性議員増加をめざして 一日・台統一地方選挙時の比較調査から一	*
No.2019-2	女性視点のキャリア形成促進に向けた研究 一福岡県と鹿児島県におけるインタビュー調査を基礎として—	*
No.2019-3	DV 被害を受けた母親と子どもへの支援に関する実証的研究 一日本とシンガポールの実践を通して	*
No.2020-1	国際家族年前後の家族をめぐる論点の整理 一国際比較のための基礎的研究—	*
No.2020-2	地方自治体におけるパートナーシップ制度の現状と課題	*

※配布、ホームページからダウンロード

Journal of Asian Women's Studies

Journal of Asian Women's Studies Vol. 1	Women in Development in Asia	800 円
Journal of Asian Women's Studies Vol. 2	Environment, Development and Women	1,000 円
Journal of Asian Women's Studies Vol. 3	Population and Our Earth's Future Women's Reproductive Rights and Population Problems in Asia	1,000 円
Journal of Asian Women's Studies Vol. 4	Women and Family	1,000 円
Journal of Asian Women's Studies Vol. 5		1,000円 (品切れ)
Journal of Asian Women's Studies Vol. 6 &	2 7	1,500円 (品切れ)
Journal of Asian Women's Studies Vol. 8		1,000 円
Journal of Asian Women's Studies Vol. 9		1,000円 (品切れ)
Journal of Asian Women's Studies Vol. 10	Women / Gender and Globalization	1,000円(品切れ)

Journal of Asian Women's Studies Vol. 11	Participation and Good Governance: Environmental Issues from a Gender Perspective	1,000円(品切れ)
Journal of Asian Women's Studies Vol. 12	Cairo+10: Reviewing Reproductive Health and Rights	1,000 円
Journal of Asian Women's Studies Vol. 13	ICT and Gender	1,000 円
Journal of Asian Women's Studies Vol. 14		1,000 円
Journal of Asian Women's Studies Vol. 15		1,000 円
Journal of Asian Women's Studies Vol. 16		1,000 円
Journal of Asian Women's Studies Vol. 17	Welfare and Gender	1,000 円
Journal of Asian Women's Studies Vol. 18	E-journal	*
Journal of Asian Women's Studies Vol. 19	E-journal	*
Journal of Asian Women's Studies Vol. 20	E-journal	*
Journal of Asian Women's Studies Vol. 21	E-journal	*
Journal of Asian Women's Studies Vol. 22	E-journal	*
Journal of Asian Women's Studies Vol. 23	E-journal	*
Journal of Asian Women's Studies Vol. 24	E-journal	*
Journal of Asian Women's Studies Vol. 25	E-journal	*
Journal of Asian Women's Studies Vol. 26	E-journal	*
Journal of Asian Women's Studies Vol. 27	E-journal	*
※ ホームページからダウンロード		

※ホームページからダウンロード

環境シリーズ

アジアにおける環境と女性―実践実例集―	500 円
地球温暖化対策の未来	500 円
ノーベル平和賞受賞者ワンガリ・マータイさんと語る 北九州市民・環境フォーラム 世界の環境首都をめざして 記録	300 円
	非壳品

農業女性シリーズ

アジアの農業女性のエンパワーメント―韓国と中国からの報告―	1,000 円
Empowerment of Female Farmers in Asia—Korea and China—	1,500円 (品切れ)
Empowerment of Female Farmers in Asia—Vietnam and Thailand—	1,500 円

アジアのドメスティック・バイオレンスシリーズ

アジアのドメスティック・バイオレンス(ハードカバー)	2,500 円
アジアのドメスティック・バイオレンス(ペーパーバック)	2,000 円
Domestic Violence in Asia—A Report from Korea and Cambodia—	800 円

アジア家族研究シリーズ

日本と韓国の家族意識の比較研究―福岡・ソウル調査を中心に―	2,000 円
A Comparative Study on the Family Consciousness between Korea and Japan—Centered on Seoul and Fukuoka—	2,000 円
現代タイの家族意識の研究―バンコク・ソウル・福岡調査の比較と共に―	2,000 円
A Study of Family Consciousness in Contemporary Thailand —With Comparison among Bangkok, Seoul and Fukuoka—	2,000 円
現代中国における都市家族の意識と生活に関する研究 一北京調査及びバンコク・ソウル・福岡との比較一	2,000 円
A Study on Life and Consciousness of Contemporary Urban Family in China —A Research in Beijing with Comparison among Bangkok, Seoul and Fukuoka—	2,000円 (品切れ)

アジアの経済発展と家族及びジェンダー	1,000 円
The Influences of Economic Development upon Women and Families —Experiences in Seven Asian Countries—	2,000 円
マレーシアの経済開発と家族及びジェンダー―経済危機の前夜まで―	2,000 円
Effects of Socio-Economic Development on Family and Gender Relations Before Economic Crisis in Malaysia—Focusing on Kuala Lumpur—	2,000 円
アジアの経済発展と家族及びジェンダー―改訂版―	1,200 円
アジアの働く女性シリーズ	
パキスタンの働く女性一綿摘み女性労働者と縫製業の女性労働者一	1,000 円
ベトナムの働く女性一ホーチミン市縫製工場の女性移住労働者一	1,000 円
フィリピンミンダナオ北部における経済開発と女性 ―開発における社会・経済ジェンダー分析(SEGA)モデルの検証―	1,000 円
客員研究員研究	
マレーシアとシンガポールにおける女性と政治 一ナショナリズム・国家建設・ジェンダー—	1,000 円
中国における社会福祉政策の展開状況に関する研究	1,000 円
Globalization の新潮流と「環境保全型経済発展の課題」 一東南アジア諸国における「中間階層」の増大との関連で一	1,000円 (品切れ)
上海市女性高齢者生活状況に関する訪問調査	1,000 円
アウンサンスーチーの思想と行動	1,000円 (品切れ)
アウンサンスーチーの思想と行動(ビルマ語付)	1,500円 (品切れ)
グローバリゼーションの新潮流と環境保全型経済発展の課題 一東南アジア諸国の事例で—	1,000 円
ミャンマーにおける女性の地位	1,000 円
インドにおける生涯にわたる健康とジェンダー	1,000 円
インドの経済開発と再生可能エネルギー利用―女性の社会的役割の増大する中で―	1,000 円
女性労働者の非正規化に関する日韓比較 一労働市場と女性政策、職場のジェンダー構造化の分析—	非売品
「法」・「貧困」・「ジェンダー」: 法多元主義と正義へのアクセス	非売品
フィリピンとミャンマーにおける、若者および女性を対象とした HIV / AIDS 対策に 関する調査研究	非売品
「権利をよりどころにするアプローチ」の展開とアジアの女性のエンパワーメント	*
大連市に進出の日本企業における現地採用女性従業員の労働実態と企業の社会的責任	*
表現アートセラピーを応用したリサーチ手法の可能性 一人身売買被害者の「<ほんもの>の語り」—	*
東北アジアにおけるジェンダー予算の動向―日本、韓国、台湾を事例として	*
中央アジア諸国におけるコミュニティ研究―ジェンダーの視点から― (ウズベキスタン、タジキスタン、カザフスタン、キルギスの事例より)	*
自治体の入札・契約におけるポジティブ・アクション評価による男女共同参画推進に 関する比較研究	*
東南アジアから東アジアへの国際移動と再生産労働の変容 一韓国・台湾・日本の比較研究—	*
内戦・津波災害下のこどもの健康 ―スリランカ、トリンコマレ県の実態調査に見る性差―	*

起業家シリーズ

起業家シリーズ	
私の起業体験―きたきゅうしゅう・ふくおかの女性起業家たち―	1,000 円
アジアの女性起業家	1,000 円
Women Entrepreneurs in Selected Asian Countries	1,000 円
アジア女性シリーズ	
No. 1「中国の女性」	1,000 円
No. 2「スリランカの女性」	1,000 円
No. 3「インドネシアの女性」	1,000 円
No. 4「韓国の女性」	1,000 円
No. 5「フィリピンの女性」	1,000 円
No. 6「バングラデシュの女性」	1,000 円
No. 7「ベトナムの女性」	1,000 円
No. 8「タイの女性」	1,000 円
No. 9「中国の女性(改訂版)」	1,000 円
No. 10「シンガポールの女性」	1,000 円
No. 11「マレーシアの女性」	1,000 円
No. 12「インドの女性」	1,000 円
海外通信員レポート集	
Vol. 1 (1991-1992)	500 円
Vol. 2 (1992-1993)「家族教育と女性」	800 円
Vol. 3 (1993-1994)「教育と女性」	800 円
Vol. 4 (1994-1995)「女性と家族」	800 円
Vol. 5 (1995-1996)「女性と労働」	800 円
Vol. 6 (1996-1997) 「女性とエンパワーメント」	800 円
Vol. 7 (1997-1998)「女性とエンパワーメント」	800 円
Vol. 8 (1998-1999)「女性と起業家」	800 円
Vol. 9 (1999-2000)「高齢者と子ども」	800 円
Vol. 10 (2000-2001)「環境と女性」	800円
Vol. 11 (2001-2002)「健康と女性」	非売品
中間性屋のTT空こ リープ	
中間階層の研究シリーズ	
現代フィリピンにおける「中間階層」の研究	1,000円(品切れ)
現代タイにおける「中間階層」の研究	1,000円(品切れ)
現代インドネシアにおける「中間階層」の研究	1,000円(品切れ)
現代マレーシアにおける「中間階層」の研究	1,000円(品切れ)
現代シンガポールにおける「中間階層」の研究	1,000円(品切れ)
東南アジアにおける「中間階層」の研究	1,000円(品切れ)
その他	
Princess Sunflower	1,500 円
おんなの軌跡北九州―北九州市女性の 100 年史―	3,000 円
-	

(2) ビデオ

国際理解のための教材ビデオ(解説書つき)ライブラリー価格 10,000 円	通常価格
中国の子どもたち/スリランカのサボミちゃん	3,000円 (品切れ)
素顔の韓国/ほほ笑みの国・タイ	3,000円 (品切れ)
インドネシアの子どもたち/共に生きるアジアの隣人	3,000円 (品切れ)
陽気なフィリピンの子どもたち/手と手を結ぼう	3,000 円
こんにちはマレーシアの子どもたち/マレーシアってどんな国?	3,000 円
多文化社会の子どもたち/オーストラリアってどんな国?	3,500 円
シンチャオ こんにちはベトナム/ベトナムの子どもたち 一いちばん大切なものはなに?一	3,500 円

※全て税込価格です。

出版物、ビデオを郵送する場合、送料が別途かかります。

海外とのネットワーク

115 カ国 3 地域 延べ 1,323 人 (2021 年 3 月末まで)

合計	1,323
国(115)	1,274
地域 (3)	49

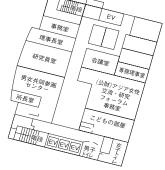
アジア	21 カ国	868
1	インド	60
2	インドネシア共和国	59
3	カンボジア王国	34
4	シンガポール共和国	31
5	スリランカ民主社会主義共和国	39
6	タイ王国	69
7	大韓民国	104
8	中華人民共和国	90
	(うち香港特別行政区)	9
9	ネパール連邦民主共和国	64
10	パキスタン・イスラム共和国	41
11	バングラデシュ人民共和国	47
12	東ティモール民主共和国	3
13	フィリピン共和国	98
14	ブータン王国	14
15	ブルネイ・ダルサラーム国	2
16	ベトナム社会主義共和国	35
17	マレーシア	34
18	ミャンマー連邦共和国	11
19	モルディブ共和国	11
20	モンゴル国	14
21	ラオス人民民主共和国	8
北米	2 カ国	87
1	アメリカ合衆国	83
2	カナダ	4
中南米	17 カ国	56
1	ウルグアイ東方共和国	6
2	エルサルバドル共和国	2
3	コスタリカ共和国	2
4	コロンビア共和国	1
5	ジャマイカ	1
6	スリナム共和国	3
7	セントルシア	1
8	チリ共和国	5
9	ドミニカ共和国	1
10	ニカラグア共和国	1
11	ハイチ共和国	2
12	パナマ共和国	4
13	パラグアイ共和国	1
14	ブラジル連邦共和国	12
15	ペルー共和国	7
16	ホンジュラス共和国	1
17	メキシコ合衆国	6
欧州 (NIS 諸国を含む) 24 カ国	61
1	アルバニア共和国	4
2	英国(グレート・ブリテン及び北アイルランド連合王国)	9
3	イタリア共和国	2
4	ウズベキスタン共和国	$\frac{2}{2}$
5	オランダ王国	$\frac{2}{4}$
6	オプレクエ国 キプロス共和国	1
$\frac{6}{7}$	キルギス共和国	2
8	クロアチア共和国	1
9	コソボ共和国	8
10	スウェーデン王国	1
11	タジキスタン共和国	
12	チェコ共和国	$\frac{2}{1}$
13	デンマーク王国	
_		2
14	ドイツ連邦共和国	2
15	ノルウェー王国 フィンランド共和国	$\frac{2}{3}$
16		5
17	ボスニア・ヘルツェゴビナ	6

18 ポルトガル共和国 1 19 マケドニア旧ユーゴスラビア共和国 1 20 モルドバ共和国 1 21 ロシア連邦 2 22 ジョンジア 2 23 スイス連邦 2 24 セルビア共和国 1 大澤州 9カ国 65 1 オーストラリア連邦 18 2 キリバス共和国 1 3 サモア独立国 3 4 ソロモン諸島 3 5 パブアニューギニア独立国 17 6 パラオ共和国 1 7 バヌアツ共和国 19 9 ミクロネシア連邦 19 9 ミクロネシア連邦 19 9 ミクロネシア連邦 11 7 アガニスタン・イスラム共和国 12 2 イエメン共和国 12 2 イエメン共和国 12 1 アフガニスタン・イスラム共和国 12 2 イエメン共和国 15 5 イラン・アラブ共和国 17 7 トルコ共和国 17 8 ヨルゲン・ハンミット王国 10 4 イラク共和国 17 7 トルコ共和国 17 7 トルコナーシー・デボワール共和国 11 1 アルジェリア民主人民共和国 11 1 アルジェリア民主人民共和国 11 2 ウガンダ共和国 11 2 ウガング共和国 11 3 ボンビア共和国 11 1 コンゴス共和国 11 1 コンゴ共和国 11 1 コンゴ共和国 11 1 コンゴ共和国 11 1 コンゴ共和国 11 1 オンビア共和国 11 1 オンド・アル共和国 11 1 オンデンナ・共和国 11 1 オンビア共和国 11 1 オーア・アリカ共和国 11 1 オーア・アリカ共和国 11 1 オーア・アリカ共和国 11 2 オーア・アリカナ・ア・アリカー・アリカー・アリカー・アリカー・アリカー・アリカー・アリカー・アリ			
20	18		1
21 ロシア連邦 2 22 ジョージア 2 23 スイス連邦 2 24 セルビア共和国 1 大澤州 9カ国 65 1 オーストラリア連邦 18 2 キリバス共和国 1 3 サモア独立国 17 6 パラオ共和国 2 7 パスアツ共和国 2 8 フィジー諸島共和国 19 9 ミクロネシ・イスラム共和国 12 4 イラノ共和国 12 4 イラシ・イスラム共和国 12 3 イスラエル国 1 4 イラン・イスラム共和国 12 6 シリア・アラブ共和国 1 7 トルコ共和国 5 8 カレダン・ハシェミット王国 1 7 トルコ共和国 5 8 カレダン・ハシェミット王国 1 7 トルカメルーン共和国 1 1 アルジェリア連大和国 1 2 ウボンチ和国 1 3 エンリト東和国 1 4 エリトリアルナス・アリン・アン・アン・アン・アン・アン・アン・アン・アン・アン・アン・アン・アン・アン			1
22 ジョージア 2 24 セルピア共和国 1 大洋州 9カ国 65 1 オーストラリア連邦 18 2 キリバス共和国 1 3 サモア独立国 3 4 ソロモン諸島 3 5 パブニューギニア独立国 17 6 パラオ共和国 1 7 バヌアツ共和国 2 8 フィジョ番島共和国 19 9 ミクロネシア連邦 1 中東 8カ国 33 1 アフガニスタン・イスラム共和国 12 2 イエメン共和国 1 2 イエメン共和国 1 5 イラン・イスラム共和国 1 6 シリア・アラブ共和国 1 7 トルコ共和国 1 8 ヨルダン・ハシェミット王国 8 7 カメシルジェット王国 1 8 ヨルダン・ハシェオ和国 1 1 アアジメイ和国 1 2 ウガンタメートラ・ア・アラン共和国 1 3			
23 スイス連邦 2 24 セルビア共和国 1 大洋州 9カ国 65 1 オーストラリア連邦 18 2 キリバス共和国 1 3 サモア独立国 3 4 ソロモン諸島 3 5 パブアニューギニア独立国 17 6 パラオ共和国 19 9 ミクロネシア連邦 1 8 カイジー諸島共和国 19 9 ミクロネシア連邦 1 中東 8カ国 33 1 アフがニスタン・イスラム共和国 12 2 イエメン共和国 1 4 イラク共和国 1 5 イラン・イスラム共和国 1 6 シリア・アラブ共和国 1 7 トルコ共和国 1 8 ヨルダン・ハシェリア民主人民共和国 1 1 アリカ 34 カ国 104 1 アルジェリア民主人民共和国 1 2 ウガンク共和国 1 3 エジプト・アラブ共和国 1 4 エリトリア国 1 5 ガーナメ和ル・大和国 1 7 </td <td></td> <td></td> <td>2</td>			2
24 セルビア共和国 65 1 オーストラリア連邦 18 2 キリバス共和国 1 3 サモア独立国 3 4 ソロモン諸島 3 5 バブアニューギニア独立国 17 6 パラオ共和国 19 7 バスアツ共和国 19 8 フィジー諸島共和国 19 9 ミクロネシア連邦 1 1 アフガニスタン・イスラム共和国 12 2 イエメン共和国 12 3 イスラエル国 1 4 イラク・イスラム共和国 1 5 イラン・イスラム共和国 1 6 シリア・アラブ共和国 1 7 トルコ共和国 1 8 ヨルダン・ハンミット王国 8 7 カメルーン共和国 1 1 アルジェリア民主人民共和国 1 2 ウガンダ共和国 7 3 エジト・アラブ共和国 1 4 エリトリア国 1 5 ガーナ共和国 1 6 ガボン共和国 1 7 カメルーン共和国 1			
大洋州 9 カ国 65 1 オーストラリア連邦 18 2 キリバス共和国 1 3 サモア独立国 3 4 ソロモン諸島 3 5 パブアニューギニア独立国 17 6 パラオ共和国 2 8 フィジー諸島共和国 19 9 ミクロネシア連邦 1 e アノリカニスタン・イスラム共和国 12 2 イエメン共和国 12 2 イエスタン共和国 1 4 イラク共和国 1 5 イラン・イスラム共和国 1 6 シリア・アラブ共和国 1 7 トルコ共和国 1 6 シリア・アラブ共和国 1 7 トルコ共和国 1 1 アルジメリア民主人民共和国 1 2 ウガンダ共和国 1 4 エリトリア財ア民主人民共和国 1 5 ガーナ共和国 1 4 エリトリア軍・アラブ共和国 1 5 ガーナ共和国 1 7			
1 オーストラリア連邦 18 2 キリバス共和国 1 3 サモア独立国 3 4 ソロモン諸島 3 5 パブアニューギニア独立国 17 6 パラオ共和国 1 7 バスアア共和国 2 8 フィジー諸島共和国 19 9 ミクロネシア連邦 1 中東 8カ国 3 1 アフガニスタン・イスラム共和国 12 2 イエメン共和国 1 3 イスラエル国 1 4 イラク・イスラム共和国 1 5 イラン・イスラム共和国 1 6 シリア・アラブ共和国 1 7 トルコ共和国 5 8 ヨルダン・ハシェミット王国 8 7 トルコ共和国 1 1 アルジメサス和国 1 2 ウガンダ共和国 1 4 エリトリア財 1 5 ガーナンボス和国 1 6 ガボン共和国 1 7 カメルーン共和国 1 9 コートジボーリル 2 10 <td></td> <td></td> <td></td>			
2 キリバス共和国 1 3 サモア独立国 3 4 ソロモン諸島 3 5 パブアニューギニア独立国 17 6 パラオ共和国 1 7 パスアツ共和国 2 8 フィジー諸島共和国 19 9 ミクロネシア連邦 1 中東 8 カ国 1 アフガニスタン・イスラム共和国 12 2 イエメン共和国 12 3 イスラエル国 1 4 イラク共和国 1 5 イラン・イスラム共和国 3 6 シリア・アラブ共和国 1 7 トルコ共和国 5 8 ヨルダン・ハシェミット王国 8 7 フリカ 34 内国 10 1 アルジェリア民主人民共和国 1 2 ウガンダ共和国 7 3 エジプト・アラブ共和国 4 4 エリトリア国 1 3 エジプト・アラブ共和国 1 4 エリトリア国 1 5 ガーナ共和国 1 6 ガボン共和国 1 7 カメルーン共和国 1 7 カメルーン共和国 1 1 コンゴ民主共和国 1 1 オジボーナルメープリンシペ民主共和国 1 1 オジンバブエ共和国 1 1 オ・ドナ和国 2 2 カーシナアナ和国			
3 サモア独立国 3 4 ソロモン諸島 3 5 パプアニューギニア独立国 17 6 パラオ共和国 1 7 バヌアツ共和国 2 8 フィジー諸島共和国 19 9 ミクロネシア連邦 1 中東 8カ国 1 アフガニスタン・イスラム共和国 12 2 イエメン共和国 1 3 イスランル国 1 4 イラク共和国 1 5 イラン・イスラム共和国 3 6 シリア・アラブ共和国 1 7 トルコ共和国 5 8 ヨルダン・ハシェミット王国 8 7 フリカ 34 カ国 104 1 アルジェリア民主人民共和国 1 2 ウガンダ共和国 7 3 エジプト・アラブ共和国 1 4 エリトリア国 1 5 ガーナ共和国 1 6 ガボン共和国 1 7 カメルーン共和国 1 8 ケニア共和国 1 9 コートジボワール共和国 1 10 コンゴ共和国 1 11 コンゴ民主共和国 1 12 サントメ・ブリンシベ民主共和国 1 13 ザンビア共和国 1 14 ジンバブエ共和国 1 17 セネガル共和国 1 18 タンザニア・ア			
4 ソロモン諸島 3 5 パブアニューギニア独立国 17 6 パラオ共和国 1 7 パスアツ共和国 2 8 フィジー諸島共和国 19 9 ミクロネシア連邦 1 中東 8カ国 3 1 アフガニスタン・イスラム共和国 12 2 イエメン共和国 1 4 イラク共和国 1 5 イラン・イスラム共和国 3 6 シリア・アラブ共和国 1 7 トルコ共和国 1 7 トルコ共和国 1 7 トルコ共和国 1 7 ルルジェリア民主人民共和国 1 2 ウガング共和国 7 3 エジリ・アラブ共和国 1 4 エリトリア国 1 5 ガーナ共和国 1 6 ガボン共和国 1 7 カメーン共和国 1 8 ケニア共和国 1 9 コートジボワール共和国 1 10 コンゴ民主共和国 1 11 コンゴスチ和国 1 12			
5 パプアニューギニア独立国 17 6 パラオ共和国 1 7 パヌアツ共和国 2 8 フィジー諸島共和国 19 9 ミクロネシア連邦 1 中東 8カ国 33 1 アブニスタン・イスラム共和国 12 2 イエメン共和国 1 4 イラク共和国 1 5 イラン・イスラム共和国 3 6 シリア・アラブ共和国 1 7 トルコ共和国 5 8 ヨルダン・ハシェミット王国 8 アフリカ 34 か園 104 1 アルジェリア民主人民共和国 7 3 エジプト・アラブ共和国 7 4 エリトリア国 1 5 ガーナ共和国 1 6 ガボン共和国 1 7 カメルーン共和国 1 8 ケニア共和国 1 7 カメルーン共和国 1 8 ケニア共和国 1 9 コートジボワール共和国 1 10 コンゴ共和国 1 11 コンゴ大・エリンドエ国 1			
6 パラオ共和国 1 7 パヌアツ共和国 2 8 フィジー諸島共和国 19 9 ミクロネシア連邦 1 中東 8 カ国 1 アフガニスタン・イスラム共和国 12 2 イエメン共和国 2 3 イスラエル国 1 4 イラク共和国 1 5 イラン・イスラム共和国 3 6 シリア・アラブ共和国 1 7 トルコ共和国 1 8 ヨルダン・ハシェミット王国 8 7 フリカ 34 カ国 104 1 アルジェリア民主人民共和国 1 2 ウガンダ共和国 7 3 エジプト・アラブ共和国 1 4 エリトリア国 1 5 ガーナ共和国 1 6 ガボン共和国 1 7 カメルーン共和国 1 9 コートジボワール共和国 1 1 コンゴ共和国 1 1 コンゴ共和国 1 1 コンゴ共和国 1 1 コンゴ共和国 1 1 サンドブ未和国 2 1 サンドブナ共和国 1 1 ナイジエリア連和国 1 1 ナイジエリア連合共和国 1 2 コーナイジエール共和国 1 2 イアン共和国 1 2 イアン共		パプアニューギニア狆立国	
7 バヌアツ共和国 2 8 フィジー諸島共和国 19 9 ミクロネンア連邦 1 中東 8 カ国 33 1 1 アブガニスタン・イスラム共和国 12 2 イエメン共和国 1 4 イラク共和国 1 5 イラン・イスラム共和国 3 6 シリア・アラブ共和国 1 7 トルコ共和国 5 8 ヨルダン・ハシェミット王国 8 アフリカ 34 カ国 104 1 アルジェリア民主人民共和国 1 2 ウガンダ共和国 7 3 エジプト・アラブ共和国 4 4 エリトリア国 1 5 ガーナ共和国 1 6 ガボン共和国 1 7 カメルーン共和国 1 7 カメルーン共和国 1 9 コートジボワール共和国 1 10 コンゴ共和国 1 11 コンゴ民主共和国 1 12 サンドメア・ブリンシペ民主共和国 1 13 ザンビア共和国 1 14 ジンパブエ共和国 1 15 スワジランド王国 3 16 赤道ギニア共和国 1 17 セネガル共和国 1 20 中央アフリカ共和国 1 21 ナイジェリア・共和国 1 <tr< td=""><td></td><td></td><td></td></tr<>			
8 フィジー諸島共和国 19 9 ミクロネシア連邦 1 中東 8 カ国 33 1 アフガニスタン・イスラム共和国 12 2 イエメン共和国 1 4 イラク共和国 1 5 イラン・イスラム共和国 3 6 シリア・アラブ共和国 1 7 トルコ共和国 5 8 ヨルダン・ハシェミット王国 8 アフリカ 34 カ国 104 1 アルジェリア民主人民共和国 1 2 ウガンダ共和国 7 3 エジプト・アラブ共和国 4 4 エリトリア国 1 5 ガーナ共和国 1 4 エリトリア国 1 5 ガーナ共和国 1 4 エリトリア国 1 5 ガーナ共和国 1 6 ガボン共和国 1 7 カメルーン・ガスブルスプリスでリン・ステス・ステス・ステス・ステス・ステス・ステス・ステス・ステス・ステス・ステ			
9 ミクロネシア連邦 1 中東 8 カ国 33 1 アフガニスタン・イスラム共和国 12 2 イエメン共和国 1 4 イラク共和国 1 4 イラク共和国 1 5 イラン・イスラム共和国 3 6 シリア・アラブ共和国 1 7 トルコ共和国 1 8 ヨルダン・ハシェミット王国 8 アフリカ 34 カ国 104 1 アルジェリア民主人民共和国 1 1 アルジェリア民主人民共和国 1 2 ウガンダ共和国 7 3 エジプト・アラブ共和国 1 4 エリトリア国 1 5 ガーナ共和国 1 4 エリトリア国 1 5 ガーナ共和国 1 6 ガボン共和国 1 7 カメルーン共和国 1 9 コートジボワール共和国 1 10 コンゴ共主共和国 1 11 コンゴ大主和国 1 12 サンドメ・デリンランド王国 3 15 スワジランド主国 1 <t< td=""><td></td><td></td><td>_</td></t<>			_
1 アフガニスタン・イスラム共和国 12 2 イエメン共和国 1 4 イラク共和国 1 5 イラン・イスラム共和国 3 6 シリア・アラブ共和国 1 7 トルコ共和国 5 8 ヨルダン・ハシェミット王国 8 アフリカ 34 カ国 104 1 アルジェリア民主人民共和国 1 2 ウガンダ共和国 7 3 エジドト・アラブ共和国 4 4 エリトリア国 1 5 ガーナ共和国 1 6 ガボン共和国 1 7 カメルーン共和国 1 6 ガボン共和国 1 7 カメルーン共和国 1 8 ケーア共和国 1 9 コートジボワール共和国 1 10 コンゴ民主共和国 1 11 コンゴ民主共和国 1 12 サントメ・デ共和国 2 13 ザンビア共和国 1 14 ジンボフナル共和国 1 15 スワジランド共和国 1 16 赤道ギアナ和国 1 <tr< td=""><td>9</td><td></td><td>1</td></tr<>	9		1
2 イエメン共和国 1 3 イスラエル国 1 4 イラク共和国 1 5 イラン・イスラム共和国 1 6 シリア・アラブ共和国 1 7 トルコ共和国 5 8 ヨルダン・ハシェミット王国 8 7 リカ 34 カ国 104 1 アルジェリア民主人民共和国 1 2 ウガンダ共和国 7 3 エジプト・アラブ共和国 4 4 エリトリア国 1 5 ガーナ共和国 1 6 ガンナ共和国 1 7 カメルーン共和国 1 8 ケニア共和国 1 9 コートジボワール共和国 1 10 コンゴ共和国 1 11 コンゴ民主共和国(旧ザイール) 2 12 サントメ・プリンシペ民主共和国 1 13 ザンビア共和国 2 14 ジンバブエ共和国 1 15 スワジランド王国 3 16 赤道ギニア共和国 1 17 セネガル共和国 1 18 タンザニアリカ共和国 1 19 チャド共和国 1 20 中央アリカ共和国 1 21 ナイジェリア連邦共和国 1 22 ブルキナファソソ 2 24 ブルンジ共和国 1 27 マダガスカル共和国 1	中東		33
3 イスラエル国 1 4 イラク共和国 1 5 イラン・イスラム共和国 3 6 シリア・アラブ共和国 1 7 トルコ共和国 5 8 ヨルダン・ハシェミット王国 8 アフリカ 34 カ国 104 1 アルジェリア民主人民共和国 1 2 ウガンダ共和国 7 3 エジプト・アラブ共和国 4 4 エリトリア国 1 5 ガーナ共和国 1 6 ガボン共和国 1 7 カメルーン共和国 1 8 ケニア共和国 1 9 コートジボワール共和国 1 10 コンゴ共和国 1 11 コンゴ民主共和国 1 12 サントメ・プリンシベ民主共和国 1 13 ボンビア共和国 2 14 ジンバブエ共和国 2 15 スワジランド王国 3 16 赤道ギニア東和国 1 17 セネガル共和国 1 20 中央アフリカ共和国 1 21 ナインシ共和国 1	1	アフガニスタン・イスラム共和国	12
4 イラク共和国 1 5 イラン・イスラム共和国 3 6 シリア・アラブ共和国 1 7 トルコ共和国 5 8 ヨルダン・ハシェミット王国 5 8 ヨルダン・ハシェミット王国 104 1 アルジェリア民主人民共和国 1 2 ウガンダ共和国 7 3 エジプト・アラブ共和国 4 4 エリトリア国 1 5 ガーナ共和国 1 6 ガボン共和国 1 7 カメルーン共和国 1 8 ケニア共和国 1 9 コートジボワール共和国 1 10 コンゴ共和国 1 11 コンゴ共和国 1 12 サントメ・ブリンシペ民主共和国 1 13 ザンビア共和国 2 14 ジンバブエ共和国 1 15 スワジランド王国 3 16 赤道ギニア連和国 1 17 セネがル共和国 1 18 タンザニア連合共和国 1 20 中央アフリカ共和国 1 21 ナイジェル共和国 1		イエメン共和国	_
5 イラン・イスラム共和国 3 6 シリア・アラブ共和国 1 7 トルコ共和国 5 8 ヨルダン・ハシェミット王国 8 アフリカ 34 カ国 104 1 アルジェリア民主人民共和国 1 2 ウガンダ共和国 7 3 エジプト・アラブ共和国 4 4 エリトリア国 1 5 ガーナ共和国 11 6 ガボン共和国 1 7 カメルーン共和国 1 8 ケニア共和国 1 10 コンゴ共和国 1 11 コンゴ民主共和国 (旧ザイール) 2 12 サンドメ・ブリンシペ民主共和国 1 11 コンゴ民主共和国 (旧ザイール) 2 12 サンドメ・ブリンシペ民主共和国 1 13 ザンビア共和国 3 14 ジンバブエ共和国 1 15 スワジランド王国 3 16 赤道ギニア共和国 1 17 セネガル共和国 1 18 タンザニア連合共和国 1 19 チャド共和国 1 10 中央アフリカ共和国 1 12 デン・ナン共和国 1 22 デン・ナス共和国 1 23 ブルキナファソ 2 24 ブルンジ共和国 1 25 ベナン共和国 1 26 ボッフリカ共和国 <t< td=""><td></td><td></td><td>_</td></t<>			_
6 シリア・アラブ共和国 1 7 トルコ共和国 5 8 ヨルダン・ハシェミット王国 8 アフリカ 34 カ国 104 1 アルジェリア民主人民共和国 1 2 ウガンダ共和国 7 3 エジプト・アラブ共和国 4 4 エリトリア国 1 5 ガーナ共和国 1 6 ガボン共和国 1 7 カメルーン共和国 1 8 ケニア共和国 1 9 コートジボワール共和国 2 8 ケニア共和国 1 10 コンゴ共和国 1 11 コンゴ民主共和国 1 12 サントメ・ブリンシペ民主共和国 1 13 ザンビア共和国 1 14 ジンバブエ共和国 2 15 スワジランド王国 3 16 赤道ギニア共和国 1 17 セネガル共和国 1 18 タンザニア連合共和国 2 20 中央アフリカ共和国 1 21 ナイジェル共和国 1 22 ニジェル共和国 1 <t< td=""><td></td><td></td><td></td></t<>			
7 トルコ共和国 5 8 ヨルダン・ハシェミット王国 8 アフリカ 34カ国 104 1 アルジェリア民主人民共和国 1 2 ウガンダ共和国 7 3 エジプト・アラブ共和国 4 4 エリトリア国 1 5 ガーナ共和国 11 6 ガボン共和国 1 7 カメルーン共和国 2 8 ケニア共和国 11 9 コートジボワール共和国 1 10 コンゴ共和国 1 11 コンゴ民主共和国 (旧ザイール) 2 12 サントメ・プリンシペ民主共和国 1 13 ザンビア共和国 2 14 ジンバブエ共和国 2 15 スワジランド王国 3 16 赤道ギニア共和国 1 17 セネガル共和国 1 18 タンザニア連合共和国 1 19 チャド共和国 1 20 中央アフリカ共和国 1 21 ナイジェリア連邦共和国 1 22 ニジェール共和国 1 23 ブルキナファソ 2 24 ブルンジ共和国 1 25 ベナン共和国 1 26 ボッワナ共和国 1 27 マダガスカル共和国 1 28 マラウイ共和国 2 30 南アフリカ共和国 3			
8 ヨルダン・ハシェミット王国 8 アフリカ 34カ国 104 1 アルジェリア民主人民共和国 1 2 ウガンダ共和国 7 3 エジプト・アラブ共和国 4 4 エリトリア国 1 5 ガーナ共和国 11 6 ガボン共和国 1 7 カメルーン共和国 1 9 コートジボワール共和国 1 10 コンゴ共和国 1 11 コンゴ民主共和国(旧ザイール) 2 12 サントメ・ブリンシペ民主共和国 1 13 ザンビア共和国 3 14 ジンバブエ共和国 2 15 スワジランド王国 3 16 赤道ギニア共和国 1 17 セネガル共和国 1 18 タンザニア連合共和国 1 19 チャド共和国 2 20 中央アフリカ共和国 1 21 ナイジェリア連邦共和国 1 22 ニジェール共和国 1 23 ブルキナファソ 2 24 ブルンジ共和国 1 25 ベナン共和国 1 26 ボツワナ共和国 1 27 マダガスカル共和国 2 29 マリ共和国 2 30 南アフリカ共和国 3 31 南スーリタニア・イスラム共和国 1 32 モーリタニア・イスラム共和国 1 <			
アフリカ 34 カ国 104 1 アルジェリア民主人民共和国 1 2 ウガンダ共和国 7 3 エジプト・アラブ共和国 4 4 エリトリア国 1 5 ガーナ共和国 11 6 ガボン共和国 1 7 カメルーン共和国 1 9 コートジボワール共和国 4 10 コンゴ共和国 1 11 コンゴ民主共和国(旧ザイール) 2 12 サンドメ・プリンシペ民主共和国 1 13 ザンビア共和国 2 14 ジンバブエ共和国 2 15 スワジランド王国 3 16 赤道ギニア共和国 1 17 セネガル共和国 1 18 タンザニア連合共和国 5 19 チャド共和国 2 20 中央アフリカ共和国 1 21 ナイジェリア連邦共和国 1 22 ニジェール共和国 1 23 ブルキナファソ 2 24 ブルンジ共和国 1 26 ボツワナ共和国 1 27 マダガスカル共和国 1 28 マラウイ共和国 2 30 南アフリカ共和国 3 31 南アノリカ共和国 3 32 モーリシニア・イスラム共和国 1<			
1 アルジェリア民主人民共和国 1 2 ウガンダ共和国 7 3 エジプト・アラブ共和国 4 4 エリトリア国 1 5 ガーナ共和国 11 6 ガボン共和国 1 7 カメルーン共和国 2 8 ケニア共和国 11 9 コートジボワール共和国 4 10 コンゴ共和国 1 11 コンゴ民主共和国(旧ザイール) 2 12 サントメ・プリンシペ民主共和国 1 13 ザンビア共和国 1 14 ジンバブエ共和国 2 15 スワジランド王国 3 16 赤道ギニア共和国 1 17 セネガル共和国 1 18 タンザニア連合共和国 5 19 チャド共和国 1 20 中央アフリカ共和国 2 20 中央アフリカ共和国 1 21 ナイジェリア連邦共和国 1 22 ニジェール共和国 1 23 ブルキナファソ 2 24 ブルンジ共和国 1 25 ベナン共和国 1 26 ボツワナ共和国 1 27 マダガスカル共和国 2 30 南アフリカ共和国 3 31 南スーダシス共和国 2 32 モーリシース共和国 1 34 レソト王国 1			
2 ウガンダ共和国 7 3 エジプト・アラブ共和国 4 4 エリトリア国 1 5 ガーナ共和国 11 6 ガボン共和国 2 8 ケニア共和国 11 9 コートジボワール共和国 4 10 コンゴ共和国 1 11 コンゴ民主共和国(旧ザイール) 2 12 サントメ・プリンシペ民主共和国 1 13 ザンビア共和国 3 14 ジンバブエ共和国 2 15 スワジランド王国 3 16 赤道ギニア共和国 1 17 セネガル共和国 1 18 タンザニア連合共和国 5 19 チャド共和国 2 20 中央アフリカ共和国 1 21 ナイジェリア連邦共和国 1 22 ニジェール共和国 1 23 ブルキナファソ 2 24 ブルンジ共和国 1 25 ベナン共和国 1 26 ボツワナ共和国 1 27 マダガスカル共和国 1 28 マラウイ共和国 2 30 南アフリカ共和国 3 31 南スーダンス共和国 2 32 モーリシャス共和国 1 33 モーリタニア・イスラム共和国 1 34 レソト王国 1 1 イギリス領ヴィージン諸島 1 <tr< td=""><td></td><td></td><td></td></tr<>			
3 エジプト・アラブ共和国 4 4 エリトリア国 1 5 ガーナ共和国 11 6 ガボン共和国 1 7 カメルーン共和国 2 8 ケニア共和国 11 9 コートジボワール共和国 4 10 コンゴ共和国 1 11 コンゴ民主共和国(旧ザイール) 2 12 サントメ・プリンシペ民主共和国 1 13 ザンビア共和国 3 14 ジンバブエ共和国 2 15 スワジランド王国 3 16 赤道ギニア共和国 1 17 セネガル共和国 1 18 タンザニア連合共和国 5 19 チャド共和国 1 20 中央アフリカ共和国 2 21 ナイジェリア連邦共和国 1 22 ニジェール共和国 1 23 ブルキナファソ 2 24 ブルンジ共和国 1 25 ベナン共和国 1 26 ボツワナ共和国 1 27 マダガスカル共和国 1 28 マラウイ共和国 9 29 マリ共和国 2 30 南アフリカ共和国 3 31 南スーダン共和国 3 32 モーリシェス共和国 1 33 モーリタニア・イスラム共和国 1 34 レソト王国 1		/ ルンエリ / 氏土八氏共和国	
4 エリトリア国 1 5 ガーナ共和国 11 6 ガボン共和国 2 8 ケニア共和国 11 9 コートジボワール共和国 4 10 コンゴ共和国 1 11 コンゴ民主共和国(旧ザイール) 2 12 サントメ・プリンシペ民主共和国 1 13 ザンビア共和国 3 14 ジンバブエ共和国 2 15 スワジランド王国 3 16 赤道ギニア共和国 1 17 セネガル共和国 1 18 タンザニア連合共和国 5 19 チャド共和国 1 10 チャド共和国 1 20 中央アフリカ共和国 1 21 ナイジェリア連邦共和国 1 22 ニジェール共和国 1 23 ブルキナファソ 2 24 ブルンジ共和国 1 25 ベナン共和国 1 26 ボツワナ共和国 1 27 マダガスカル共和国 2 30 南アフリカ共和国 3 31 南スーダン共和国 3		ワルマク共和国 エジプト・マラブサ和国	
5 ガーナ共和国 11 6 ガボン共和国 1 7 カメルーン共和国 2 8 ケニア共和国 11 9 コートジボワール共和国 4 10 コンゴ共和国 1 11 コンゴ民主共和国(旧ザイール) 2 12 サントメ・プリンシペ民主共和国 1 13 ザンビア共和国 3 14 ジンバブエ共和国 2 15 スワジランド王国 3 16 赤道ギニア共和国 1 17 セネガル共和国 1 18 タンザニア連合共和国 5 19 チャド共和国 2 20 中央アフリカ共和国 1 21 ナイジェリア連邦共和国 1 22 ニジェール共和国 4 23 ブルキナファソ 2 24 ブルンジ共和国 1 25 ベナン共和国 1 26 ボッワナ共和国 1 27 マダガスカル共和国 1 28 マラウイ共和国 1 29 マリ共和国 2 30 南アフリカ共和国 3 31 南スーダン共和国 1 32 モーリシャス共和国 1 33 モーリタニア・イスラム共和国 1 34 レソト王国 1 地域 3 地域 49 1 1 イギリス領ヴ			
6 ガボン共和国 1 7 カメルーン共和国 2 8 ケニア共和国 11 9 コートジボワール共和国 4 10 コンゴ共和国 1 11 コンゴ民主共和国(旧ザイール) 2 12 サントメ・プリンシペ民主共和国 1 13 ザンビア共和国 3 14 ジンバブエ共和国 2 15 スワジランド王国 3 16 赤道ギニア共和国 1 17 セネガル共和国 1 18 タンザニア連合共和国 5 19 チャド共和国 2 20 中央アフリカ共和国 1 21 ナイジェリア連邦共和国 1 22 ニジェール共和国 1 23 ブルキナファソ 2 24 ブルンジ共和国 1 25 ベナン共和国 1 26 ボツワナ共和国 1 27 マダガスカル共和国 2 30 南アフリカ共和国 2 30 南アフリカ共和国 1 32 モーリシャス共和国 1 34 レソト王国 1			_
7 カメルーン共和国 2 8 ケニア共和国 11 9 コートジボワール共和国 4 10 コンゴ共和国 1 11 コンゴ民主共和国(旧ザイール) 2 12 サントメ・プリンシペ民主共和国 1 13 ザンビア共和国 3 14 ジンバブエ共和国 2 15 スワジランド王国 3 16 赤道ギニア共和国 1 17 セネガル共和国 1 18 タンザニア連合共和国 5 19 チャド共和国 2 20 中央アフリカ共和国 1 21 ナイジェリア連邦共和国 1 22 ニジェール共和国 4 23 ブルキナファソ 2 24 ブルンジ共和国 1 25 ベナン共和国 1 26 ボツワナ共和国 1 27 マダガスカル共和国 1 28 マラウイ共和国 9 29 マリ共和国 3 30 南アフリカ共和国 3 31 南スーダン共和国 1 32 モーリシャス共和国 1 33 モーリタニア・イスラム共和国 1 34 レソト王国 1 地域 3 地域 49 1 1 イギリス領ヴァージン諸島 1 2 台湾 39			
8 ケニア共和国 11 9 コートジボワール共和国 4 10 コンゴ共和国 1 11 コンゴ民主共和国(旧ザイール) 2 12 サントメ・プリンシペ民主共和国 1 13 ザンビア共和国 3 14 ジンバブエ共和国 2 15 スワジランド王国 3 16 赤道ギニア共和国 1 17 セネガル共和国 1 18 タンザニア連合共和国 5 19 チャド共和国 2 20 中央アフリカ共和国 1 21 ナイジェリア連邦共和国 1 22 ニジェール共和国 4 23 ブルキナファソ 2 24 ブルンジ共和国 1 25 ベナン共和国 1 26 ボツワナ共和国 1 27 マダガスカル共和国 1 28 マラウイ共和国 9 29 マリ共和国 9 29 マリ共和国 3 31 南スーダン共和国 1 32 モーリシャス共和国 1 33 モーリタニア・イスラム共和国 1 34 レソト王国 1 地域 3 地域 49 1 1 イギリス領ヴァージン諸島 1 2 台湾 39			
10 コンゴ共和国 1 11 コンゴ民主共和国 (旧ザイール) 2 12 サントメ・プリンシペ民主共和国 1 13 ザンビア共和国 3 14 ジンバブエ共和国 2 15 スワジランド王国 3 16 赤道ギニア共和国 1 17 セネガル共和国 1 18 タンザニア連合共和国 5 19 チャド共和国 2 20 中央アフリカ共和国 1 21 ナイジェリア連邦共和国 1 22 ニジェール共和国 4 23 ブルキナファソ 2 24 ブルンジ共和国 1 25 ベナン共和国 1 26 ボツワナ共和国 1 27 マダガスカル共和国 1 28 マラウイ共和国 9 29 マリ共和国 3 30 南アフリカ共和国 3 31 南スーダン共和国 1 32 モーリシャス共和国 1 34 レソト王国 1 地域 3 地域 49 1 イギリス領ヴィスラン諸島 1			
10 コンゴ共和国 1 11 コンゴ民主共和国 (旧ザイール) 2 12 サントメ・プリンシペ民主共和国 1 13 ザンビア共和国 3 14 ジンバブエ共和国 2 15 スワジランド王国 3 16 赤道ギニア共和国 1 17 セネガル共和国 1 18 タンザニア連合共和国 5 19 チャド共和国 2 20 中央アフリカ共和国 1 21 ナイジェリア連邦共和国 1 22 ニジェール共和国 4 23 ブルキナファソ 2 24 ブルンジ共和国 1 25 ベナン共和国 1 26 ボツワナ共和国 1 27 マダガスカル共和国 1 28 マラウイ共和国 9 29 マリ共和国 3 30 南アフリカ共和国 3 31 南スーダン共和国 1 32 モーリシャス共和国 1 34 レソト王国 1 地域 3 地域 49 1 イギリス領ヴィスラン諸島 1		コートジボワール共和国	
11 コンゴ民主共和国(旧ザイール) 2 12 サントメ・プリンシペ民主共和国 1 13 ザンビア共和国 3 14 ジンバブエ共和国 2 15 スワジランド王国 3 16 赤道ギニア共和国 1 17 セネガル共和国 1 18 タンザニア連合共和国 5 19 チャド共和国 2 20 中央アフリカ共和国 1 21 ナイジェリア連邦共和国 1 22 ニジェール共和国 4 23 ブルキナファソ 2 24 ブルンジ共和国 1 25 ベナン共和国 1 26 ボツワナ共和国 1 27 マダガスカル共和国 1 28 マラウイ共和国 9 29 マリ共和国 3 30 南アフリカ共和国 3 31 南スーダン共和国 1 32 モーリシャス共和国 1 34 レソト王国 1 地域 3 1 49 1 イギリス領ヴァージン諸島 1 1 イギリス領ヴァージン諸島 <t< td=""><td></td><td></td><td></td></t<>			
12 サントメ・プリンシペ民主共和国 1 13 ザンビア共和国 3 14 ジンバブエ共和国 2 15 スワジランド王国 3 16 赤道ギニア共和国 1 17 セネガル共和国 1 18 タンザニア連合共和国 5 19 チャド共和国 2 20 中央アフリカ共和国 1 21 ナイジェリア連邦共和国 1 22 ニジェール共和国 4 23 ブルキナファソ 2 24 ブルンジ共和国 1 25 ベナン共和国 1 26 ボツワナ共和国 1 27 マダガスカル共和国 1 28 マラウイ共和国 9 29 マリ共和国 2 30 南アフリカ共和国 3 31 南スーダン共和国 2 32 モーリシャス共和国 1 33 モーリタニア・イスラム共和国 1 34 レソト王国 1 地域 3 地域 49 1 1 イギリス領ヴァージン諸島 1 2 台湾 39		コンゴ民主共和国(旧ザイール)	
14 ジンバブ工共和国 2 15 スワジランド王国 3 16 赤道ギニア共和国 1 17 セネガル共和国 1 18 タンザニア連合共和国 5 19 チャド共和国 2 20 中央アフリカ共和国 1 21 ナイジェリア連邦共和国 1 22 ニジェール共和国 4 23 ブルキナファソ 2 24 ブルンジ共和国 1 25 ベナン共和国 1 26 ボツワナ共和国 1 27 マダガスカル共和国 1 28 マラウイ共和国 9 29 マリ共和国 3 30 南アフリカ共和国 3 31 南スーダン共和国 2 32 モーリシャス共和国 1 34 レソト王国 1 地域 3 地域 49 1 イギリス領ヴァージン諸島 1 2 台湾 39	12	サントメ・プリンシペ民主共和国	1
15 スワジランド王国 3 16 赤道ギニア共和国 1 17 セネガル共和国 1 18 タンザニア連合共和国 5 19 チャド共和国 2 20 中央アフリカ共和国 1 21 ナイジェリア連邦共和国 11 22 ニジェール共和国 4 23 ブルキナファソ 2 24 ブルンジ共和国 1 25 ベナン共和国 1 26 ボツワナ共和国 1 27 マダガスカル共和国 1 28 マラウイ共和国 9 29 マリ共和国 3 30 南アフリカ共和国 3 31 南スーダン共和国 2 32 モーリシャス共和国 1 34 レソト王国 1 地域 3 49 1 イギリス領ヴァージン諸島 1 2 台湾 39	13		3
16 赤道ギニア共和国 1 17 セネガル共和国 1 18 タンザニア連合共和国 5 19 チャド共和国 2 20 中央アフリカ共和国 1 21 ナイジェリア連邦共和国 11 22 ニジェール共和国 4 23 ブルキナファソ 2 24 ブルンジ共和国 1 25 ベナン共和国 1 26 ボツワナ共和国 1 27 マダガスカル共和国 1 28 マラウイ共和国 9 29 マリ共和国 3 30 南アフリカ共和国 3 31 南スーダン共和国 2 32 モーリシャス共和国 1 33 モーリタニア・イスラム共和国 1 34 レソト王国 1 地域 3 地域 49 1 イギリス領ヴァージン諸島 1 2 台湾 39	14		2
17 セネガル共和国 1 18 タンザニア連合共和国 5 19 チャド共和国 2 20 中央アフリカ共和国 1 21 ナイジェリア連邦共和国 11 22 ニジェール共和国 4 23 ブルキナファソ 2 24 ブルンジ共和国 1 25 ベナン共和国 1 26 ボツワナ共和国 1 27 マダガスカル共和国 1 28 マラウイ共和国 9 29 マリ共和国 2 30 南アフリカ共和国 3 31 南スーダン共和国 2 32 モーリシャス共和国 1 34 レソト王国 1 地域 3 地域 49 1 イギリス領ヴァージン諸島 1 2 台湾 39	15		3
18 タンザニア連合共和国 5 19 チャド共和国 2 20 中央アフリカ共和国 1 21 ナイジェリア連邦共和国 11 22 ニジェール共和国 4 23 ブルキナファソ 2 24 ブルンジ共和国 1 25 ベナン共和国 1 26 ボツワナ共和国 1 27 マダガスカル共和国 1 28 マラウイ共和国 9 29 マリ共和国 3 30 南アフリカ共和国 3 31 南スーダン共和国 2 32 モーリシャス共和国 1 33 モーリタニア・イスラム共和国 1 34 レソト王国 1 地域 3 地域 49 1 イギリス領ヴァージン諸島 1 2 台湾 39	16	赤道ギニア共和国	1
19 チャド共和国 2 20 中央アフリカ共和国 1 21 ナイジェリア連邦共和国 11 22 ニジェール共和国 4 23 ブルキナファソ 2 24 ブルンジ共和国 1 25 ベナン共和国 1 26 ボツワナ共和国 1 27 マダガスカル共和国 1 28 マラウイ共和国 9 29 マリ共和国 9 29 マリ共和国 3 31 南スーダン共和国 3 32 モーリシャス共和国 1 33 モーリタニア・イスラム共和国 1 34 レソト王国 1 地域 3 49 1 イギリス領ヴァージン諸島 1 2 台湾 39	17		_
20 中央アフリカ共和国 1 21 ナイジェリア連邦共和国 11 22 ニジェール共和国 4 23 ブルキナファソ 2 24 ブルンジ共和国 1 25 ベナン共和国 1 26 ボツワナ共和国 1 27 マダガスカル共和国 1 28 マラウイ共和国 9 29 マリ共和国 3 30 南アフリカ共和国 3 31 南スーダン共和国 2 32 モーリシャス共和国 1 33 モーリタニア・イスラム共和国 1 34 レソト王国 1 地域 3 地域 49 1 イギリス領ヴァージン諸島 1 2 台湾 39		タンザニア連合共和国	
21 ナイジェリア連邦共和国 11 22 ニジェール共和国 4 23 ブルキナファソ 2 24 ブルンジ共和国 1 25 ベナン共和国 1 26 ボツワナ共和国 1 27 マダガスカル共和国 1 28 マラウイ共和国 9 29 マリ共和国 2 30 南アフリカ共和国 3 31 南スーダン共和国 2 32 モーリシャス共和国 1 33 モーリタニア・イスラム共和国 1 34 レソト王国 1 地域 49 1 イギリス領ヴァージン諸島 1 2 台湾 39			
22 ニジェール共和国 4 23 ブルキナファソ 2 24 ブルンジ共和国 1 25 ベナン共和国 1 26 ボツワナ共和国 1 27 マダガスカル共和国 1 28 マラウイ共和国 9 29 マリ共和国 2 30 南アフリカ共和国 3 31 南スーダン共和国 2 32 モーリシャス共和国 1 34 レソト王国 1 地域 3 地域 49 1 イギリス領ヴァージン諸島 1 2 台湾 39			
23 ブルキナファソ 2 24 ブルンジ共和国 1 25 ベナン共和国 1 26 ボツワナ共和国 1 27 マダガスカル共和国 1 28 マラウイ共和国 9 29 マリ共和国 3 30 南アフリカ共和国 3 31 南スーダン共和国 2 32 モーリシャス共和国 1 33 モーリタニア・イスラム共和国 1 34 レソト王国 1 地域 3地域 49 1 イギリス領ヴァージン諸島 1 2 台湾 39			
24 ブルンジ共和国 1 25 ベナン共和国 1 26 ボツワナ共和国 1 27 マダガスカル共和国 1 28 マラウイ共和国 9 29 マリ共和国 2 30 南アフリカ共和国 3 31 南スーダン共和国 2 32 モーリシャス共和国 1 33 モーリタニア・イスラム共和国 1 34 レソト王国 1 地域 3地域 49 1 イギリス領ヴァージン諸島 1 2 台湾 39		2 1 1 1 1 1	
25 ベナン共和国 1 26 ボツワナ共和国 1 27 マダガスカル共和国 1 28 マラウイ共和国 9 29 マリ共和国 2 30 南アフリカ共和国 3 31 南スーダン共和国 2 32 モーリシャス共和国 1 33 モーリタニア・イスラム共和国 1 34 レソト王国 1 地域 3 1 イギリス領ヴァージン諸島 1 2 台湾 39			
26 ボツワナ共和国 1 27 マダガスカル共和国 1 28 マラウイ共和国 9 29 マリ共和国 2 30 南アフリカ共和国 3 31 南スーダン共和国 2 32 モーリシャス共和国 1 33 モーリタニア・イスラム共和国 1 34 レソト王国 1 地域 3地域 49 1 イギリス領ヴァージン諸島 1 2 台湾 39		<u> </u>	_
27 マダガスカル共和国 1 28 マラウイ共和国 9 29 マリ共和国 2 30 南アフリカ共和国 3 31 南スーダン共和国 2 32 モーリシャス共和国 1 33 モーリタニア・イスラム共和国 1 34 レソト王国 1 地域 3地域 49 1 イギリス領ヴァージン諸島 1 2 台湾 39			_
28 マラウイ共和国 9 29 マリ共和国 2 30 南アフリカ共和国 3 31 南スーダン共和国 2 32 モーリシャス共和国 1 33 モーリタニア・イスラム共和国 1 34 レソト王国 1 地域 3地域 49 1 イギリス領ヴァージン諸島 1 2 台湾 39			
29 マリ共和国 2 30 南アフリカ共和国 3 31 南スーダン共和国 2 32 モーリシャス共和国 1 33 モーリタニア・イスラム共和国 1 34 レソト王国 1 地域 3地域 49 1 イギリス領ヴァージン諸島 1 2 台湾 39			
30 南アフリカ共和国 3 31 南スーダン共和国 2 32 モーリシャス共和国 1 33 モーリタニア・イスラム共和国 1 34 レソト王国 1 地域 3地域 49 1 イギリス領ヴァージン諸島 1 2 台湾 39			
31 南スーダン共和国 2 32 モーリシャス共和国 1 33 モーリタニア・イスラム共和国 1 34 レソト王国 1 地域 3地域 1 イギリス領ヴァージン諸島 1 2 台湾 39			3
32 モーリシャス共和国 1 33 モーリタニア・イスラム共和国 1 34 レソト王国 1 地域 3地域 49 1 イギリス領ヴァージン諸島 1 2 台湾 39		南スーダン共和国	
33 モーリタニア・イスラム共和国 1 34 レソト王国 1 地域 3 地域 49 1 イギリス領ヴァージン諸島 1 2 台湾 39			
34 レソト王国 1 地域 3 地域 49 1 イギリス領ヴァージン諸島 1 2 台湾 39		モーリタニア・イスラム共和国	_
地域 3 地域 49 1 イギリス領ヴァージン諸島 1 2 台湾 39		レソト王国	
2 台湾 39			49
	1		
	3	パレスチナ (PLO)	9

施設案内

北九州市大手町ビルは地上 10 階、地下 2 階建てで、平成 7 年 7 月に開館しました。 1 階から 5 階までが北九州市立男女共同参画センター・ムーブで、公益財団法人アジア女性交流・研究フォーラムは 3 階に入居しています。

3階 FLOOR GUIDE



主 な 施 設

- 9 · 10 F 北九州市立大手町練習場
 - 8F 北九州市人権推進センター
- 6・7 F (公財)アジア成長研究所

5 F

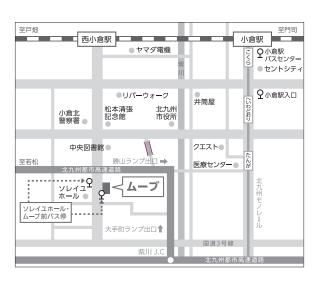
4 F

○ F (公財)アジア女性交流・研究フォーラム

北九州市立 >男女共同参画 センター・ムーブ

2 F

B1·2F 地下駐車場(有料·100台収容)



アクセス

- ①JR西小倉駅より
- 1) 徒歩約15分
- 2) 西鉄バス
 - ・西小倉駅前 ソレイユホール・ムーブ前下車 27、45、76、110、134、138、150、170、175、197

②JR小倉駅より

- 1) 西鉄バス
 - ・小倉駅バスセンター ソレイユホール・ムーブ前下車 27、45、110、134、138
 - 27、45、110、134、138 ・小倉駅入口 ソレイユホール・ムーブ前下車 76、150、170、175、197

③北九州都市高速道路 勝山ランプ/大手町ランプより約3分



指定管理施設の案内

北九州市立男女共同参画センター・ムーブ



〒803-0814 北九州市小倉北区大手町11番4号 TEL(093)583-3939 FAX(093)583-5107 メールアドレス move@move-kitakyu.jp ホームページ http://www.kitakyu-move.jp

(公財) アジア女性交流・研究フォーラム 令和 2(2020)年度 年報

発 行 (公財) アジア女性交流・研究フォーラム

〒 803-0814 北九州市小倉北区大手町 11-4

TEL (093) 583-3434

FAX (093) 583-5195

HP http://www.kfaw.or.jp

発 行 月 令和3年8月



公益財団法人 アジア女性交流・研究フォーラム KITAKYUSHU FORUM ON ASIAN WOMEN

〒803-0814 北九州市小倉北区大手町11番4号 北九州市大手町ビル3階電話 093-583-3434 FAX 093-583-5195 E-mail: kfaw@kfaw.or.jp ホームページ http://www.kfaw.or.jp